

第五十九回帝國議會  
衆議院

# 關稅定率法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

## 會議

昭和六年三月十九日(木曜日)午後一時  
四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 永田善三郎君

理事 櫛部 荒熊君

理事 手代木隆吉君

理事 多田 滿長君

理事 岩本 武助君

理事 土倉 宗明君

飯塚春太郎君

竹田 儀一君

小野耕一郎君

板谷 順助君

加藤 知正君

高橋熊次郎君

村田不二三君

同日委員今井健彦君辭任ニ付其ノ補闕  
トシテ加藤知正君ヲ議長ニ於テ選定セ  
リ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

商工大臣 俵 孫一君

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

農林省山林局長 平熊 友明君

商工省貿易局長 立石 信郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左  
ノ如シ

大藏書記官 飯田九州雄君

議員 淺川 浩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(本田恒之  
君外五名提出)

關稅定率法中改正法律案(淺川浩君  
外四名提出)

○永田委員長 開會致シマス、此際御  
報告スルコトガアリマス、昨日バカリ  
デハアリマセガ、先日カラ續イテ居リ  
マシタ、各委員諸君ヨリ熱心ナル御質  
問デアリマシテ、ソレニ對シマシテ昨  
日農林大臣及ビ大藏大臣カラ、本日午  
前十時ニソレ等ノ主タル御希望ニ對シ  
マシテ、何トカ相談ノ上御返事ヲ申上  
ゲル、斯ウ云フ事ヲ御約束シタヤウ  
デアリマス、ソレニ付キマシテ大藏大

臣カラ國務大臣トシテ御返事ガアルサ  
ウデアリマス

○井上國務大臣 先日來委員各位ヨリ  
御熱心ナル質問御希望ニ依リマシテ、  
關係各大臣ノ間デ、昨日來種々協議  
ヲ致シマシタノデアリマスガ、南洋  
材ノ關稅引上ハ、輸入數量ノ増減、價  
格ノ高低、兩方面ヨリ見マシテ、過日  
來農林大臣及ビ山林局長等ヨリ説明致  
シマシタ通りデアリマシテ、此際特ニ  
本案ヲ修正致シマシテ、南洋材ニ對ス  
ル關稅引上ヲ爲ス意思ハゴザイマセ  
ス、次ニ農產物ノ價格下落ニ依リマス  
農家ノ困難ニ付キマシテハ、十分ニ承  
知致シテ居リマシテ、種々對策ヲ講ジ  
テ居リマスガ、是亦此際特ニ本案ヲ修  
正スル考ハナイノデアリマス、但シ議  
員ノ提出ニ係ハリマスル關稅定率法中  
改正法律案ニ列舉サレテアリマス乳製  
品外數件ノ農產物ニ付キマシテハ、本  
案ガ委員會ヲ通過致シマシタナラバ、  
之ニ對スル政府ノ態度ヲ其時ニ發表致  
ス積リデ居リマスカラ、左様御承知ヲ  
願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員 只今ノ政府ノ御回答ヲ拜

聽致シマシテ、尙ホ私ハ伺ッテ置キタイ  
ノハ、ソレデハ之ヲ委員會ニ於テ修正  
致セバ、ソレニ對シテ御同意ニナルノ  
デアリマスガ、南洋材ニ付テ御尋致シ  
マス、政府ハ進ンデ修正セスト言フガ、  
吾々ガ修正致シタナラバ、政府ハ御同  
意ニナルノデアリマスガ

○井上國務大臣 只今私ガ申上ゲマシ  
タノハ、只今茲ニ提案サレテ居リマス  
政府案、議員提出ニ係ル關稅定率法  
中改正法律案ノ事柄ニ付テ意見ヲ申述  
ベタ次第デアリマス、ソレデ第一ニ南  
洋材ト云フモノニ付キマシテハ、此際  
特ニ本案ヲ修正シテ關稅ヲ引上ゲル考  
ハナイノデゴザイマスカラ、修正シテ  
戴キマシテモ、其點ニ付キマシテハ相  
當ノ——最後ニ御答シタト同ジヤウナ  
態度デ御答ヲ致スコトハ出來マスガ、  
直チニ修正ニ贊成スルト云フ考ハゴザ  
イマセヌ

○岡田委員 ソレデハ此問題ハ政府ハ  
捨テテ積リデアリマスガ、又何等カノ  
方策ヲ以テ、之ヲ實現サスト云フコトニ  
將來御努力ヲスルト云フノデアリマス  
カ、捨テルノカ、或ハ積極的ニ御努力

## 付託議案

關稅定率法中改正法律案(政府提出)  
關稅定率法中改正法律案(川島正次郎君外  
九名提出)  
關稅定率法中改正法律案(本田恒之君外五  
名提出)  
關稅定率法中改正法律案(淺川浩君外四名  
提出)

サレルノカ、此點ニ付テノ御答辯ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣 其點ニ付キマシテハ、私ハ只今茲ニ提出致サレテ居ルノハ、政府案デアリマスカラ、議員提出ノ案ガ通過致シマシタラバ、其案ニ對スル政府ノ態度ヲハッキリ申上ゲテ見タイト思ッテ居リマス、但シ前二箇條ニ付キマシテハ、先刻御答致シタヤウニ申上グルヨリ外アリマセス

○岡田委員 其次ニ農林大臣ガオイデニナリマシタヤウデスガ、聯關シテ居ルノデ伺ヒマス、農產物ノ價格下落、之ニ對シテ全國農村ガ如何ニ困難シテ居ルカト云フコトニ付テハ、只今ノ政府ノ御答辯ニ依ッテモ、十分御認メニナッテ居ルヤウデアリマス、吾々ハ此際農產物ニ對スル關稅ノ改正ト云フモノガ、最モ適切ニシテ簡明ナ方法デアルコトヲ度々述ベテ居リマス、與黨諸君ニ於テモ御意見ガアッタヤウニ存ジマス、特ニ吾々ハ述ベテ置キマスガ、其對策ガ他ニアルト云フコトナラバ、ソレヲ拜承シタイノデアリマス、無イト云フコトナラバ、何故ニ之ニ同意ナサラスト云フ理由ガ聽イテ見タイノデアリマス、農林大臣ハ之ニ對シテ對策ガ無イカ、他ニアルト云フナラバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ

○町田國務大臣 只今ノ御尋ニ付キマ

シテハ、先日來屢、農林當局ノ考ヲ申シテ居リマス、農產物ノ暴落、是ガ爲ニ仍テ生ズル農村ノ今日ノ疲弊ノ狀態ハ御同感デアリマシテ、當局ニ於キマシテモ、昨年來種々ノ施設ニ依ッテ、此困憊ヲ幾分緩和シタイト云フ爲ニ、色々ナ取扱ヲ致シテ居リマス、大體ヲ於テ申シマスレバ、應急施設トシテ、失業救済ノ意味ヲ含ンダ農村振興ノ低利資金、殆ド二億圓位モ出テ居ル、更ニ出

來ルナラバ、農產物ノ生産費ヲ出來ルダケ減ズル施設、或ハ農產物ノ市場ニ現レル配給改善ニ依ッテ、價格ヲ相當ナ點ニ維持スルヤウナ施設ヲ致シテ居リマス、併シ是デハ足りマセス、此窮狀ヲ救フニ付キマシテハ、更ニ大ニ考ヘテ居リマス、併シ其施設デ行カスト云フ時ニハ、次ニハ關稅政策ニ依ルカ、或ハ獎勵金制度ニ依ルカ、此二ツヲ常ニ考ヘテ居リマス、私トシテハ關稅政策ニ依ルヨリモ、寧ロ財政ガ許セバ獎勵金ノ施設ニ依ッテ、消費者ト生産者ノ利害ヲ出來ルダケ調和スル方法ヲ考ヘテ居リマス、先年鐵ノ問題ノアッタキニモ、ヤハリ獎勵金ノ意見ヲ吾々ハ採ッ

タノデアリマスガ、只今ノ財政ノ現狀デ見マスレバ、獎勵金ニ依ッテ之ヲ救フト云フコトモ困難デアリマスカラ、已ムヲ得ナケレバ、出來ルダケ生産者ト消費者ノ利害ヲ調和シタイ意味ヲ

持ッテ居リマスケレドモ、生産者ガ大事デアリマスノデ、斯様ナ農產物ニ對シマシテハ、生産者ノ立場ヲ重ク考慮シナケレバナリマセス、併シ此度ノ問題ニ付キマシテハ相當考慮シテ居リマスガ、直チニ政府案トシテ茲ニ提案スルマデニハ參ラナカッタノデアリマス、若シ此農產物ノ關稅ヲ改正スルト云フコトニナリマスルト、同時ニ農產物以外ニ於キマシテモ、相當關稅ノ増率、其

他内地ノ産業ヲ保護スル意味ニ於テ關稅ニ於テ調査研究ヲシテ具體案ヲ作ル、殊ニ各方面ニ問題ガアリマシタ爲ニ、農林省一ツノ爲ニ關稅委員會ヲ開クト云フコトニ參ラナカッタノデアリマス、故ニ暫ク御辛抱下サッテ——私ハ一昨日以來政友會諸君、民政黨諸君、各委員カラ農業界ノ現狀ヲ此儘ニシテ置カレヌ爲ニ、已ムヲ得ズ關稅ニ依ラナケレバナラスト云フ、痛切ナル御議論ヲ承ッテ、一層私ノ意見ヲ強メタノデアリマスカラ、暫ク御待チ下サレバ、私ハ誓ッテ相當ナル關稅率ノ改正ニ依ッテ、之ヲ緩和スルコトヲ努メタイト思ヒマスガ、遺憾ナガラ今回政府案トシテ提出スルマデニ參ラナカッタコトヲ、遺憾ト致シテ居リマス

○永田委員長 岡田君、一寸御諮リシマスガ、大藏大臣ハ貴族院ノ減稅ノ委員會ノ方デ、總理ノ代理デ御説明ナサ

ルノデ、御急ギニナッテ居リマスカラ、大藏大臣ヲ先ニ願ヒタイ

○岡田委員 ソレデハ農林大臣ハアトニ廻シマシテ、大藏大臣ニ一應御尋シテ置キマス

○町田國務大臣 私モ競馬ノ方ニ行キマスカラ、出來ルダケ早く……

○岡田委員 ドウ致シマセウカ、ドチラカラ先ニシマセウカ

○永田委員長 大藏大臣カラ先ニ願ヒタイ

○岡田委員 我ハ大藏大臣並商工大臣ニ聞キタイノデアリマスガ、商工大臣ハ何處ヘ御出ニナッテ居マスカ、御差支ナラバ後廻シデモ宜シイ、主トシテ大藏省ノ問題ニ付テヤリマス、此間御配布ニナリマシタ、保稅工場ノ日本ニア

ル所在地表ニ依リマスト云フト、六箇所アルノデアリマスガ、是ハ何カ御間違デハアリマセスカ、其後マダ他ニ三箇所カ四箇所殖エテ居ルヤウニ思ヒマスガ、或ハ私ノ考ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角之ニ出テ居リマスノハ、島崎織物株式會社ノ分ト、山

田仙之助私設保稅工場ト、近藤宗治郎ト、酒伊合同紡績ト、谷口森私設保稅工場ト、坂井乙治郎、此六ツシカナイノデアアルガ、私ハモットアルヤウニ聞イテ居リマスガ、是ハ間違デアリマスカ、ソレハ無論大臣デナクテモ宜イ

○永田委員長 岡田君、一寸御諮リシマスガ、大藏大臣ハ貴族院ノ減稅ノ委員會ノ方デ、總理ノ代理デ御説明ナサ

○井上國務大臣 私カラ御答致シマス、六ツガ織物デアリマス、三ツガ染工場デアリマス、随テ合計致シマシテ九ツアリマスガ、織物ハ六ツデアリマス

○岡田委員 ソレデハ染工場ト云ヒマスト、ドウ云フヤウナモノデゴザイマセウカ、保税工場ノ染工場トハドンナモノデスカ

○井上國務大臣 即チ人造絹、或ハ人造絹ト綿トノ混ゼ織モ入ッテ居リマシテ、ソレヲ染メル工場デアリマス、織工場デハナイノデアリマス

○岡田委員 此染工場或ハ此織物ノ工場ガ九ツアルト致シマシテ、一ツハ餘程前ニ許サレテ居ルヤウデアリマス、其他ノモノハ、現内閣成立以來、ズンズン殖ヤシタモノデアアルヤウニ見エマス、其設立認可ノ年月ヲ見マス

ト、極ク最近ニマデ許サレタモノモアルヤウデアリマスガ、是ハ何カ急速ニ御許シナルト云フコトニ付キマシテハ、ソコニ理由ガアリマスガ、ソレヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○井上國務大臣 急速ニ許シマス理由ハ、吾々ノ目ノ前ニ出テ參リマシタ事情カラ申シマス、保税工場出願者ガ非常ニ多クナリマシタノデアリマス、多クナリマシタ其裏ニ入りマシタ原因カラ行キマス、外國ノ人造絹絲ガ非

常ニ安クナリマシテ、同時ニ日本カラ海外ニ輸出スル人造絹絲ノ織物ガ殖エテ來タ、安イ外國ノ人造絹絲ヲ保税工場デ織物ニ拵ヘテ外國ニ輸出スルト、非常ニ利益ガ多イカラ、ソレデ非常ニ出願者ガ殖エテ參リマシテ、出願ノ順序ニ依リマシテ、何ト申シマスガ、極ク切詰メタモノデ、少數ヅ、許シテ行ッタノデアリマス

○岡田委員 是モ表ニ依リマス、第一ニ許シタノハ、大正十二年四月ガ一番初メ、是ハ確カ政友内閣ドラウト思ヒマスガ、其後ノ分ハ、昭和四年十二月六日ヲ初メトシテ、昭和五年又六年ニマデ至ッテ、ズット御許シニナッテ居ルノデアリマス、是ハ申スマデモナク、一種ノ特權ヲ與ヘルモノデアリマス、國家ノ力ヲ以テ特權ヲ付與スルモノデアリマス、然ラバ其特權ヲ得タ所ノ者ハ、非常ナル利益ヲ他ノ同業者ニ對シテ得ルト云フコトハ當然デアリマス、他ノ同業者ヲ壓迫スルコトモ、隨テ起ル問題デアリマス、其内地ノ他ノ同業者トノ關係ニ付キマシテハ、如何様ナ

ル御考ヲ以テ許サレタノデアリマスカ、之ヲ許スト云フコトハ、他ノ同業者ニ對シテ大ナル壓迫ヲ加ヘ、一面ニ許可サレタル者ニ對シテ特權ヲ與ヘルモノデアアル、斯様ニ信ズルノデアリマ

スガ、之ヲ現内閣ノ手ニ於テ急速ニ許

サレタト云フコトハ、ドウ云フ譯デア

ルカ、甚ダ其點ニ付テ疑惑ヲ存スルノデアリマス、内外ノ關係ニ付テノ考ヲ、大藏大臣ヨリ伺ッテ見タイと思ヒマス

○井上國務大臣 只今申シマス如ク、最近ニ至ッテ保税工場ノ出願ガ非常ニ數ガ殖エマシタ理窟ハ、先刻申シマシタヤウニ、外國ノ人絹ノ値段ガ下ガリ、人絹織物ガ海外ニ非常ニ盛ニ行クト云フコトデアリマスガ、ソレナラバ保税工場ヲ許スニ付テノ大藏省ノ態度、將來ノ考ニナリマス、保税工場ヲ假ニ出願者ノアルニ從ッテ許シマシタナラバ、今日ノ如キ値段ノ差ノアル場合ニハ、殆ド日本ノ人造絹絲ト云フモノ、製造業ハ、盛ニナル氣遣ヒゴザイマセ

ス、ソレカト云ッテ、左様ニ値開キガアリ、保税工場ノ制度ガ茲ニ備ッテ居ルモノヲ、何ト申シマスガ、弊害ノナイ相當程度ノ範圍内デハ、許スヨリ外ニ仕方ガナイト云フコトモアリマス、サ

ウ云フ事情ニ依リマシテ、是ダケノモノヲ許シタノデアリマス、ソレガ即チ今日ノ關稅引下ヲ提案シタ所以ニナルノデアリマス、一方カラ云フト、保税工場ヲ絕對的ニ大藏大臣ガ許サスト云フコトノ態度ハ執ッテ居リマセス、保税工場ハ大藏大臣ノ權限内ニアッテ、之ヲ

許シ得ルノデアリマスガ、苟モサウ云フ制度ガ出來テ居ッテ、之ヲ絕對的ニ許

サスト云フコトハ言ヘマセス、許セバ日本ノ人造絹絲ニ大打撃ヲ與ヘル、即チ許サレタ保税工場ガドウカト云フナラバ、只今岡田君ノ御示シニナル如ク、比較的大キナ工場デアリマス、大キナ工場ガ左様ナ利益ヲ得テ、小サナ多數ノ工場ハ保税工場ノ利益ヲ擧ゲ得ナイ、斯ウ云フ弊害ガソコニアルノデア

リマス、サウ云フコトガアルノデ、人造絹絲ノ製造ノ基礎ヲ固メ、產額ヲ殖ヤスト云フコト、保税工場ト云フコトハ、矛盾シテ居ルヤウナ場合ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、今度人造絹絲ノ關稅ヲ下ゲマシタノハ、一方カラ言ヘバ、今後進ンデ行ク途ヲ示シテ、段々不必要ナル高イ關稅ヲ下ゲル、下

段々不必要ナル高イ關稅ヲ下ゲル、下

造絹絲ガ段々競争上、生産費ヲ下ゲテ安ク出來ルヤウニナル、サウスルト保税工場ノ必要ガ左程ナクナルト云フコトヲ、理想ト致シテ置クヨリ外ニナイ

ノデアリマスカラ、今般此稅ヲ下ゲタ稅ヲ段々ト下ゲテ來テ居リマシテ、今般ノ引上ゲダケデ、私ガ茲ニ申上ゲルヤウナ目的ハ達シ兼ネルノデアリマ

ス、即チ之ニ依ッテ保税工場ハモウ必要ガナイ、人造絹絲モ之ニ依ッテ正當ナ途ニ付イタトハ申上ゲ兼ネマスガ、之ヲ第一ノ順序トシテ、將來人造絹絲ノ生

第三

第五類第三十二號 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第五回 昭和六年三月十九日

産費等ヲ見マシテ、段々業者ノ調節ヲ圖ツテ行ッテ、保稅工場ナシニ、日本ノ人造絹絲ガ、外國ノ人造絹絲ノ安イ値ト競争シテ行ケルヤウニシタイト云フ希望デ、今般關稅ヲ下ゲルコトニシタノデアリマス

○岡田委員 念ノ爲ニ伺ッテ置キマスガ、今後保稅工場ヲ許スルニ付テハ大藏大臣ハ商工大臣ノ意見ヲ求メテ後許否サレマスカ、或ハ大藏大臣獨斷デ許否サレマスカ、内輪ノ御話デアリマスガ、其御取扱振リヲ御發表願ヒタイ

○井上國務大臣 保稅工場ヲ許ス許サヌハ、大藏大臣ノ權限内ニアルト考ヘテ居リマスガ、勿論斯様ナ重大ナルコトデアリマシテ、人造絹絲ノ事業、産額、價格等ニモ、大ナル關係ノアルコトデアリマスカラ、商工省ト協議シテヤルコトハ當然ノコトデアリマス

○岡田委員 只今外國ノ人造絹絲ノ安イ物ヲ入レテ、ソレヲ以テ日本ノ絹物業ヲ盛ニスルコト云フ意味ニ於テ保稅工場ガアル、但シソレガ爲ニ小ナル資本家ヲ壓迫スルト云フ嫌ヒモアル、其障碍ヲ調和スルト云フコトガ目的デアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、サウ致シマス、日本ノ保稅工場ニ入ル關稅ノ課ッテ居ラヌ絲ト、ソレカラ日本ノ織物トスル絲ニ對シテハ戻稅ガアリマスガ、其日本内地ノ織物用ノ絲カラ戻

稅ヲ引イタ絲ノ代トノ間ニ、ドレダケ開キガアルカ、無論御調査ノアルコトト存ジマスガ、其御調査ヲ御發表願ヒタイ

○立石政府委員 戻稅ハ現在百斤ニ付テ百二十五圓ト云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ實際ニ於テソレダケノ稅ハ何モ關係ハアリマセヌ、實際關係シテ居リマスノハ、先ヅ伊太利カラ來ル絲ヲ七十圓乃至八十圓、若クハ九十圓程度ト睨ンデ差支ナイ、之ヲ基準トシテ居リマス、ソレニ保稅工場ニハ保稅工場トシテノ特別ノ費用ヲ、先ヅ二

十圓見當ハ要ルモノト考ヘマス、サウスルト九十圓トスルト、百十圓ノ絲ヲ使ッテ居ルノデアアル、内地ノ絲ハ是モ時ニ依ッテ相場モ變動致シマスカラ、正確ニハ分リマセヌガ、百三十圓カラ場合ニ依ッテハ百二十圓ノ場合モアリマ

スガ、先ヅ百四十圓程度ノ絲ヲ使ッテ居ルカラ、丁度二十圓カ三十圓、保稅工場ノ絲ト一般ノ工場ノ絲トノ間ニハ差額ガアル、斯ウ云フコトニ御承知願ヒマス

○岡田委員 只今ノ數字ハ正確ナモノデアルカドウカ、一寸手許ノ數字ヤ表デハ分ラヌヤウニ思ヒマス、若シ假ニ正確デアルトシテモ、果シテソレナラバ保稅工場ヲドンノ許シテ行クナラバ、其基礎ニ立脚スレバ、日本内地ノ

織物ハ最モ打撃ヲ受ケナケレバナラヌモノデアルト考ヘマス、只今ノ大藏大臣ノ意見ニ依レバ、保稅工場ノ制度ガアル以上ハ、之ヲ段々許サザルヲ得ヌガ、其制度ヲ置クト云フコトガ私ニハ一寸分ラヌ、制度モ良イ制度ナラバ宜イガ、惡イナラバ廢メタラ宜イ、制度ニ因ハレテドウ斯ウ云フ御議論ハ私ハ承服出來ナイ、併シソレハ別トシテ、日本ノ海外發展ノ爲ニ、ドウシテモ此保稅工場制度ヲ許サナケレバナラヌト云フ御意思デ、將來モ其方針ニ依ッテ進ンデ行カレルノデアリマス、其御意見ヲ先以テ伺ッテ見タイと思ヒマス

〔委員長退席、櫛部理事著席〕

○井上國務大臣 保稅工場ニ付テ愚見ヲ申上ゲマスガ、差當リ人造絹絲事業ヲ盛ニスル爲ニ、百斤百二十五圓ト云フ高イ關稅デ保護シテ居リマス、其保護ノ目的ヲ達シヤウトスレバ、保稅工場ト云フモノヲ許シテハ、人造絹絲業ハ盛ニナラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ、保稅工場ヲ無暗ニ許スト云フコトハ、是ハ非常ナ弊害ガアリマス、併ナガラ今日ノ如ク外國ノ人造絹絲ノ値段ト、内地ノ人造絹絲ノ値段ト非常ナ差ガ出テ參リマシテ、サウシテ外國ニ人造絹絲ノ織物ガ非常ニ殖エル場合ニハ、日本ノ外國貿易ヲ盛ニシヤウト云フ事ノ爲ニハ、又一方ニハ其制

度ガアリマス以上ハ、絶對的ニ許サヌト云フコトデアリマス、サウ云フコトデアリマスカラ、保稅工場ト云フモノハ、非常ナ慎重ナ態度デ、之ヲ許サナケレバナラヌコトハ間違アリマセヌ、無暗ニ許シテハナラヌコトモ能ク分ッテ居リマス、併ナガラ結局スル所ハ何處カト云ヘバ、日本ノ人造絹絲ヲ外國ノ人造絹絲ト同ジニ對抗ノ出來ルヤウニ安クシテ行ク、サウシテ保稅工場ガ要ラズニ、内地品ヲ使ッテ輸出ヲ盛ニスルト云フコトガ、理想的デナクテハナリマセヌ、其理想ニ向ッテ段々行カウ、斯ウ云フコトノ手初メトシテ、今般人造絹絲ノ關稅ヲ下ゲテ行ッ

タノデアリマス、即チ四割下ゲマシタナラバ、日本ノ人造絹絲ハドウ云フコトヲ感ズルカト言ヘバ、今日ノ外來ノ人造絹絲ノ値段ナラバ、大ナル影響ハナイノデアリマス、併ナガラ政府ノ態度、政府ノ方針ガ其處ニアリマス以上ハ、非常ニ努力シテ生産費ヲ下ゲテ行カナケレバナラヌコトハ確カデアリマス、即チ關稅ニ保護サレタ蔭ニ隱レテ、勝手ヲシテ居ルト云フ態度ハナクナルト云フコトハ確カデアリマスカラ、其處ニ利益ガアルト考ヘテ居リマス、保稅工場ヲ是カラ先キ許スカ許サヌカト云フコトハ、茲ニ明言ハ出來マセヌガ、許スニシテモ、非常ナ慎

重ナ態度ヲ以テ、之ヲ研究センケレバ  
ナラスコトハ確カデアリマス

○岡田委員 商工大臣ニ伺ヒタイノデ  
アリマスガ、保稅工場ハ此内閣成立以  
來急速ニ許サレタノデアアル、此許サレ  
タコトニ付テハ、内地ノ此人絹業竝ニ  
内地ノ織物業者ニ對シテ、相當ナ打撃  
ヲ與ヘタモノト吾々ハ信ジマスルガ、  
商工大臣ニ於テハ此點ハ差支ナイ、斯  
様ニ御考ニナツテ居ルノデアアルカ、差支  
ナイナラバ、ナイト云フコトノ根據ヲ  
御示シテ願ヒタイノデアリマス

〔樞部理事退席、委員長復席〕

○俄國務大臣 只今ノ御尋ニ御答致シ  
マス、保稅工場ヲ現内閣成立ノ後ニ許  
シタ其結果ト致シマシテ、既ニ是ハ御  
答シテアルデアラウト思ヒマスルガ、  
左程格別ナ數量ハ入ツテ居リマセス、ソ  
レデ此程度ヲ以テ行キマスレバ、格別  
ノ影響ハナイト思ヒマス、但シ今後ニ  
餘リ増加スルト云フコトニナリマスル  
ト、是ハ大ニ影響ガナイトハ申サレマ  
セヌカラ、ソレ故ニ將來ニ向ッテハ、  
餘程慎重ナル態度ヲ以テ其許否ヲ決セ  
ナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス、  
其數量ハ昭和五年度中ニ八十六萬、金  
額ニスレバ百二十二萬圓、斯ウ云フコ  
トニナツテ居リマス

○岡田委員 斯ノ如ク致シテ段々保稅  
工場ヲ御許シニナル結果ハ、輸入ト云

ヒマスカ、保稅工場ニ入ルモノ、數ガ  
増シ、隨テ日本ヨリ出ルモノモ増ス、  
是ハ輸出上ニ於テハ宜シウゴザイマセ  
ウ、併ナガラ一面ニ於テ其特權ヲ得テ  
居ル所ノモノハ、極ク僅カナモノデア  
リ、而モ大資本家デアアル、左様致シマ  
スルナラバ、全國何千ノ中小工業ノ企  
業家ニ對シテハ、非常ナル打撃ヲ與ヘ  
ルコトハ明カデアアル、立石君ノ御話ニ  
依ルト、其開キガ二三十圓アルト云フ  
コトニナル、是ハ非常ナ特權デアリマ  
ス、今日マデハ慎重ニシタガ、尙ホ一  
層慎重ニスルト云フノハ、何ヲ意味ス  
ルノデアリマスカ、今迄ハ慎重デナカッ  
タト云フノデアリマスカ、今日日本ノ人  
絹ト云フモノハ、最モ發達ノ途中ニア  
ル矢先ニ當ッテ、此表ニ依ッテモ急速ナ  
ル進歩ヲ爲シツ、アルコトガ分リマ  
ス、ソレニ向ッテ内地ノ少數ノ資本家  
ヲ擁護スル爲ニ、全體ノ企業家ノ利益  
ヲ損シ、一面ニ於テ内地人絹業者ノ業  
態ノ上ニ非常ナ陰影ヲ與ヘ、不安ヲ與  
ヘルト云フコトハ、是ガ商工者ノ方針  
トシテハ甚ダ考モノデアリマスガ、此  
點ニ付テ今日マデニ許可サレタモノ

ハ、是デ正シカッタノデアアルカ、或ハ將  
來ニ付テハドウスルト云フノデアアルカ、  
大藏省ヲ離レタル商工大臣ノ御意見ヲ  
再ビ伺ッテ見タイト思ヒマス

○俄國務大臣 將來慎重ナル調査ヲス

ルト申シタコトガ、其反對ニ從來ハ慎  
重デナカッタカト云フノデアリマスガ、  
從來モ慎重ニ考慮シテ居ル、將來ハ尙  
ホ一層慎重ニ考慮スルノデアリマス、  
而シテ此點ニ付テ、確ニ保稅倉庫ヲ持ッ  
テ居ル工場ト普通ノ工場トハ、其處ニ  
仰セノ通りニ不公平ガアルカラ、ソレ  
故ニ先ニ大藏大臣ガ、サウ云フ點モ亦  
考ヘナケレバナラス、ソレ故ニ輸入價  
格ト内地ノ價格ト開キガアルコトヲ矯  
正シタイト云フ理由モ、亦關稅引下ノ  
理由デアルト云フコトヲ申上ゲタ所以  
デアアルノデアリマス、而シテサウ云フ  
アナタノ指摘サレタ如キ不公平ガアリ  
マスカラ、尙更將來ノ保稅工場ノ許可  
ニ付テハ、尙ホ一層慎重ナル考慮ヲス  
ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリ  
マス

○岡田委員 サウ致シマス、是カラ  
先ノ我國ノ方針ハ、商工大臣ハ絕對許  
サスコトモイカス、唯慎重ニ之ヲ考慮  
スル、斯ウ云フヤウナ御返事ト承ッテ  
宜シウゴザイマスカ

○俄國務大臣 其通りデアリマス

○岡田委員 尙ホ念ノ爲ニ駄目ヲ押シ  
テ置キマスガ、是カラ先モ許スコトハ  
アラウ、但シ最モ慎重ニ考慮ヲスル、  
斯ウ云フ御話ノヤウデアリマス、然ラ  
バ私ハ伺ヒタイガ、日本ノ大局ノ上カ  
ラ見テ、今日日本内地ノ人絹ノ製造竝ニ

人絹織物ノ輸出ノ獎勵ト云フ點カラ眺  
メタ時ニ於テ、此人絹保稅工場ト云フ  
モノヲ——染物ノ方ハ別ニシテ、織物  
ノ工場ニ付テ申シマスレバ、之ヲ多少  
デモ多クシテ、一ツガ二ツニナリ、二  
ツガ三ツニナルト云フコトハ、我國ノ  
先キ申ス如ク人絹ノ工業ヲ發達セシム  
ル上ニ於テ、又外國ヘノ輸出ヲ獎勵ス  
ル上ニ於テ、障礙ニナルト御考ニナリ  
マスカ、或ハ障礙ニナラヌト御考デア  
リマスカ、其點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒ  
タイ

○俄國務大臣 保稅工場其モノハ、ソ  
レハ御問ノ貿易ノ將來ニ對シテハ、確  
ニ結構ナコトデアアルト思ヒマス、併ナ  
ガラアナタノ丁度御話ノ如ク、此特權  
ヲ一部ニ與ヘテ他ノ部ニ與ヘヌト云フ  
コトデハ、ソコニ不公平ガ起リマスカ  
ラ、ソレ故ニ保稅工場ノ新設、許可ト  
云フコトニ付テハ、慎重ナル考慮ヲス  
ル必要ガアルト申シタノデアリマス

○岡田委員 其點ヲ伺ッタノデハナイ、  
詰リ私ノ聞イタノハ、保稅工場ヲ一ツ  
許スニツ許ス、三ツ許ス、ト云フ風ニ  
許セバ、許ス程ニ日本内地ノ人絹製造  
工業ノ發達ヲ阻碍スル、又外國輸出人  
絹織物ノ發展ヲ阻碍スルト、アナタハ  
御考ニナリマセヌカト云フコトヲ聞イ  
タノデアリマス

○俄國務大臣 話ハ一寸混亂シハセヌ

カト思ヒマスガ、保稅工場ノ設置ハ内地ノ人絹工業ニハ妨ゲアル、併シ人絹ヲ原料トスル織屋ニハ利益デアルト云フコトニナルノデス

○岡田委員 人絹ヲ原料トスル所ノ織屋、即チ日本全國ニ數千軒アル織屋、其中ノ一部ニハ利益ガアリ、大部分ニハ壓迫ニナルト言ヘバ、日本全體ノ織物工業ノ上ニ於テハ障礙ニナルト、斯様ニ私ハ思フノデアリマス、ソレデスカラ、障礙ニナルデハナイカ、ソレヲ伺ッタノデアリマス

○俄國務大臣 ソレハ保稅工場ニ依テ利益ヲ受ケル工場ノ生産額ト、保稅工場ニ依テ利益ヲ受ケナイ工場ノ生産額、此數量ニ付テ考ヘテ見ナイト、ハッキリシタコトハ申サレマセヌガ、併ナガラ其處ニ不公平ガアルトアナタモ仰セラル、如ク、保稅工場ヲ設ケテ居ル工場ト設ケヌ工場ニハ、其處ニ利益、不利益ノアルコトハ明瞭デアリマス

○永田委員長 一寸御諮リスルコトガアリマス、委員今井健彦君ガ辭任サレマシテ、加藤知正君ガ補闕當選サレマシタ議長ヨリ通知ガアリマシタ、此段御報告致シマス

○岡田委員 サウ致シマスト、アナタノ御方針ガ餘計分ラナクナッテ來ルノデスガ、大キナ工場ニハ利益デアリ、中小機業家ニハ不利益デアル、日本全

體ノ工業ヲ發達セシムル上ニ於テ、ドラヲ採ルノデアリマスカ、大キナ工場ヲ以テ、大量生産ヲ以テ世界ニ對抗スルト云フ御方針デアルカ、或ハ日本全體ノ社會的ニモ、今總テノ點ヨリ考ヘテ、中小工業ヲ發達セシメ、之ヲ集メテ外國ニ出スト云フ方針ヲ採ルノデアリマスカ、商工大臣トシテノ方針ガ分ラナイデハアリマセヌカ、ドウ爲サルノデアリマスカ

○俄國務大臣 ドウゾ分ラナケレバ幾ラデモ御尋下サレバ、幾ラデモ御答シマス、ソレデアナタノ仰セラレル今ノ御問ハ、保稅工場ノ特權ヲ得タ者ニ對シテト、得ザル者ニ對シテノ區別ニ付テノ御話デアレバ、先刻申上ゲタ通りデアル、併ナガラ保稅工場ノ特權ヲ受ケタ者ハ一部分デアッテ、其保稅工場ノ特權ヲ受ケナイ他ノ——大工場モアリマセウ、中小工業ニハ甚ダ不公平ナ結果ニナルカラ、ソレ故ニ將來ニ向ッテ保稅工場設置ニ付テ慎重ナル考慮ヲ拂フト云フコトヲ申上ゲタ所以デアル、之ヲ以テ御諒解ヲ願ヒタイ

○岡田委員 ドウモ能ク分リマセヌガ、モット碎イテ申シマスト、斯ウ云フコトニナルダラウト思ヒマス、詰リ今保稅工場ヲ許スノニハ、政府トシテモ信用モアリ、資本モアリ、相當大キナモノデナケレバ御許シニナラヌダラウ

ト、私ハ推測スル、多分サウデアリマセウ、ソコデマア信用ノ無イ、資本モ細イモノハ、保稅工場ヲ許シテ呉レト言ッテモ、御許シニナラヌダラウト思ヒマス、其點ガ違ッテ居レバ、私ノ言フハ違フノデアリマスケレドモ——ソコデ以テ全國ノ多數ノモノハ、所謂中産ノ小資本ノ織物工業ニハ不利益デハナイカト思ヒマス、吾々農村ノ發展ヲ希望シ、或ハ中小都會ノ發展ヲ希望スル者ハ、之ヲ全國的、社會的ニ見テ、中小工業ノ獎勵ヲスルト云フコトガ、最モ必要ナ事ダト思フノデアリマスガ、今ノ如ク保稅工場ハ非常ナ速力ヲ以テ増シテ來ラレテ、大ナル工場ガ特權ヲ得ル——非常ナ特權デアリマス、其特權ヲ得テ、其附近ノ小商工業者ヲ壓迫シ、之ヲ大ニスレバ、日本全國ノ機屋ヲ壓迫スルト云フコトニナルト云フコトノ形勢ハ明瞭デアリマス、ソレニ付テ政府ハ如何ナル國策ヲ執ルノデアリマスカ、大ナル工場ト云フモノヲ發展セシメントスルナラバ、或ハアナタ方ハ保稅倉庫ヲ殖シテモ宜イト仰シヤルカモ知レヌ、ソコデアリマス、此小ナル工業ヲ發展セシメル爲ニハ、之ヲ増スコトハイカヌト思フノデアリマス、アナタハソレヲ増スカモ知レヌ、増シテ行ッテ中小工業ト云フモノガ壓迫サレ、段々減ビテ來ルト云フコトニナレ

バ、隨テ日本ノ人絹工業ト云フモノニ影響シテ來ルノデアル、大ナル工場ハ、外國カラ來ル安イモノデドント用ヒテ、日本ノ人絹ヲ用ヒハセヌデヤナイカ、サウナレバ日本内地ノ人絹ノ需用ト云フモノガ減ッテ來ルデハナイカ、其大ナル影響ニ對シテハ、如何ナル方針デアルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、是ガ御分リニナラナケレバモウ一遍申上ゲマス、餘計ナ事ヲ仰シヤラズニ、私ノ言フ眞髓ニ付テノ御答辯ヲ願ハナケレバ困ル

○俄國務大臣 ソレハ先刻來私トシテハ御答申上ゲタ積リデアリマス、即チアナタガ先刻カラ仰セノ如ク、保稅工場ノ許可ヲ受ケタ者ハ、受ケザル者ト、其處ニ非常ナル不公平ガアルト云フコトニナッテ來ル、ソレ故ニ將來保稅工場ノ申請ニ付テハ、十分慎重ナル考慮ヲ拂フト云フノハソコデス、サウダカラシテ、私ハソレデ以テアナタノ今ノ御問ニ對シテハ御答シタ積リデアリマス

○岡田委員 ドウモ並行線ノ上ヲ歩イテ居ルヤウナモノデス、幾ラヤッテモ是ハ限ガ付カヌヤウニ思ヒマスカラ、是ハ留保シテ置キマセウ、アナタノ御答辯ニ依ルト、ドウト云フ御方針ガナイヤウニモ聞エルノデアリマス、加藤君ガ商工大臣ニ質問ガアルヤウデスカラ……

ラ……

○永田委員長 委員長ハ岡田サンノ繼續ヲ望ミマス

○岡田委員 委員長ノ御意見ニ從ヒマシテ大藏大臣ニ伺ヒマスガ、先程大藏大臣ハ、將來段々關稅ヲ下ゲタイト云フヤウナ御意見デアッタヤウデアリマ

スガ左様デゴザイマスカ  
○井上國務大臣 保稅工場ノコトニ付テ、今岡田氏カラ商工大臣ニ對シテノ御尋ノコトハ、關稅ノ將來ニ付テノ御尋デアリマスカラ、私ガ商工大臣ノ言ハレタコトヲ補足致シマシテ、只今ノ御質問ニ御答シテ見タイト思ヒマス、

保稅工場ノ性質カラ申シマス、資本ガ多カラウト、少ナカラウト、ドンナ人ニデモ許シ得ルヤウニ出來テ居リマス、併ナガラ保稅工場タルヤ、相當ナ費用モ掛カリ、相當ナ規模デモナケレバナラヌノデアリマスカラ、偶然ニモ比較的大キナ資本ノ人ニ許シテアリマス、ソレデナケレバ許シテ受ケラレヌヤウナ事態ニナツテ居リマス、此處ニ岡田氏ノ言ハレルヤウニ、保稅工場ノ非常ナ弊害ヲ認メテ、此制度此儘デハ到底人造絹絲ヲ盛ニシヤウ、又人造絹絲ノ織物ヲ外國ニ出シテ行カウト云フノニハ、是デハイカスト云フコトガ能ク分リマシタカラ、今度根本ニ遡ッテ關稅ヲ下ゲヤウ、今度下ゲテ、是デ段々日本ノ人造絹絲ノ生産費ガ下ッテ、都合好

ク行クナラバ、又モ下ゲ、又モ下ゲテ、サウシテ此保稅工場ノ必要ノナイヤウニシヤウト云フノガ、吾々ノ理想デアリマス、其理想ガ一年ニシテ實現スルヤ、二年掛ラナケレバ實現シナイカハ、

是ハ斷定出來マセヌケレドモ、大體ノ方針ハソコニ在ルノデ、御指定ノヤウナ弊害ハ十分認メテ居リマスカラ、方向轉換デ關稅ヲ下ゲテ行カウ、斯ウ云フコトニ出直シタ所以デアリマスカラ、現政府ノ大體ノ保稅工場ニ對スル考ノアル所モ、御推察下サルデアラウト思ヒマス

○岡田委員 サウ致シマス、今マデ急速ニ御許シニナツタコトハ、ドウモ少シ研究ガ足りナカッタヤウニ思フ、アナタ方ノ方デ餘リ急速ニ無暗ニドン／＼許シテシマツテ、特權ヲ與ヘラレテ、サウシテ後ノモノガ壓迫サレル、斯ウ云フコトデ、政府ノ方デハ方向轉換ヲシナケレバナラヌヤウニナツタ、責メル譯デハナイガ、非常ニ遺憾ニ思フ、併シ又此處ニ關係者モ居ラレルノデ、私ハ現存ノモノヲ御潰シナサイト、サウ云フテ置ケバ宜シイノデアリマス、偕テサウ致シマス、將來ハ關稅ヲ撤廢シテ、世界ノ大道ヲ潤歩スルヤウニシタイト云フ、大キナ御理想デアリマス、所ガ私ハ非常ニ慮レルノハ、此四五日前デ

アリマシタカ、向フデ「カルテル」ヲ作リ、歐洲列國ガ一緒ニナツテ、亞米利加ノ人モソレニ參加シヤウト云フヤウナコトヲ聞イテ居ル、嘘カ本當カ分リマセヌガ、サウシテ過剩ヲシタモノハ「カルテル」ノ組織ヲ以テ共同シテ賣ル、斯ウ云フコトニナレバ必ズ東洋ニ來ルニ違ヒナイト思ヒマスガ、此傾向ハ今日如何ニナツテ居リマスカ、是ハ念ノ爲ニ情報ノアリマス限リニ於テ、政府ノ情報機關ニ依ッテ得タ所ノモノヲ御發表願ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 只今ノ御尋ノ事ハ數字ヲ申上ゲルコトハ、先方ノ計畫デアリマスカラ、餘程ムヅカシイノデアリマスガ、只今七十五圓カラ八十圓シテ居ル伊太利ノ絲ガ、人造絹絲當局者ノ意見ニ依リマス、六十五圓位マデハ下ゲルノデハナカラウカト云フ意見ヲ唱ヘテ居ル人モアリマス、サウデハナイ、モウ是ヨリ以下ニ下ゲル餘地ハナイ、斯ウ云フコトモ申シテ居リマス、隨テハッキリハ致シマセヌガ、此上多少下ゲルコトモアリマセウ、又今日ハ非常ニ「ダンピング」ノ流行スル時代デアリマスカラ、或ハ此上ニ二十圓、三十圓モ下ツテ來ストハ限リマセヌ、サウ致シマシタナラバ、今日ノ「ダンピング」ノ箇條ヲ適用シテ、之ヲ防グヨリ外ニ途ハアリマセヌ、ソレハ人造絹絲ニ限ッ

タコトデハナク、何デモサウデアルト考ヘテ居リマス

○岡田委員 其處デアリマス、只今ノ歐羅巴ナリ、或ハ亞米利加モ參加スルコト云フ狀況ニ付テモ、マダ大藏省ノ手ニ詳シイ情報ハナイデアラウト思ヒマス、御發表ノ程度ガ左様ニ考ヘラレマス、尙ホ伊太利ノ大ナル會社モ、今日ハ東洋ニ向ッテ全カヲ注グト云フコトニナツテ居ル、是ハ確實ニナツテ居ルデアリマシテ、七十五圓、即チ「ダンピング」ノ値段ト思ッテ居ルノデアリマシテ、ソレガ更ニ一層少クシテ來ルト云フコトデアレバ、之ニ對抗スル唯一ノ東洋ノ日本デアリマスカラ、注意シナケレバナラヌト思フ、然ルニ關稅ノ撤廢ヲシテマデモヤッテ行カウト云フ其理想ハ、甚ダ可ナリト雖モ、歐洲、亞米利加ノ力ヲ以テ「ダンピング」ヲ致シテ、日本ノ新興ノ此工業ヲ潰シニ來タナラバ、ドウナルカト云フコトヲ私共ハ憂フル、正ニソレヲ憂フルノデアリマス、此「ダンピング」ノ値段ト云フモノヲ基本トシテ、大藏大臣ハ先程マデハ御論ジニナツテ居ルヤウデアリマス、日本ノ絲ガ高イ「ダンピング」ヲ以テ來テ居ル伊太利ノ絲ヲ、保稅工場ニ入レテヤルト云フ風ニ御論ジニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ「ダンピング」ノ絲ヲヨリ多ク日本ニ使ハセルト云ヘバ、即

中間接ニ保稅工場ノ力ヲ以テ、日本ノ振興セザル所ノ人絹工業ヲ壓迫スルモノデアルト斷定スルノデアリマス、ソレニ搗テ加ヘテ昨日カラノ應答ニ依ルト、生産費々々ト云フガ、一向生産費ノ調ヲシテナイ、又關稅ト云フモノ淵源ニ付テモ、推移ニ付テモ調ベテナイ、關稅ト云フモノヲ定メルノハ、私が申上ゲルマデモナク、收入ノ問題デハナカラウト思フ、即チ關稅ト云フモノニ依ッテ世界ノ大勢ト、ドウ云フ風ニシテ日本ノ工業ヲ調和セシメテ行クカト云フコトガ、關稅ノ理想デアラウト思フ、其理想トナル關稅ヲ定メル根據ト云フモノヲ、少シモ御測量ニナラズシテ、サウシテ急速ニ之ヲ四割以上ノ減ヲスルト云フコトハ、餘リニ冒險デアルト私ハ思フノデアリマス、商工省ハ固ヨリノコト、大藏省ニ於テモ、是ハ大ニ考フベキコトデアラウト思フノデアリマス、是ハ根據ノナイコトデハナイカ、唯一ツノ想像ニ依ッテ、今下ゲタラ宜イデハナイカ、當業者ニ聞イタラ宜イト言ッタト云フ、私ハ左様ナ薄弱ナル根據ノ下ニ、苟モ此重大ナル、日本ノ國策デアル所ノ人絹ニ對シテ、關稅ノ増減ヲ論ゼラレルト云フコトハ、私ハ大藏大臣トシテモ輕率デアルト思ハザルヲ得マセヌ、ソレニ對シテ如何ナル考デアリマスカ

○井上國務大臣 只今岡田氏ノ言ハレルヤウナ點ハ、吾々ノ十分考ヘテ居リマスノデアリマス、即チ日本ノ人造絹絲ノ生産費ヲ考ヘマシテ、サウシテ今日ノ伊太利ノ絲ハ時々違ヒマスケレドモ、所謂荷揚ノ費用マデ入レテ、八十圓以內位賣ッテ居ルノガアリマス、ソレガ即チ日本ニ來マス絲ノ一番安イ絲デアリマス、ソレデアリマスカラ日本ノ生産費ト、日本ニ實際來テ陸揚ヲサレル費用マデ入レタ値段ト、比較致シテ見マシテ、サウシテ關稅ヲ一ツ定メテ置クト云フコトハ、是ハ關稅ヲ定メマス場合ニハ、勿論亞米利加ノ絲、英吉利、獨逸アタリノ絲ヲ皆考ヘテ居リマサガ、ソレヲ考ヘル前ニ、日本ニ來ル一番安イ絲デ、其品質上カラ云ヘバ、日本ノ人造絹絲ノ品質ト變ラヌ絲ノ場合ヲ考ヘテ見ルト、ソレヲ目標ニシテ關稅ヲ茲ニ定メマスコトハ適當ノコトト思フ、ソレナラバ其伊太利ノ絲ガ果シテ「ダンピング」デアルカドウカ、斯ウ考ヘテ見マスト、今ノ經濟界デ云ヒマスト「ダンピング」デアルカ、生産過剰ノ爲ニ相當ニ安く賣ルモノデアルカハ、何處ノ國デモ分リマセヌ、日本ガ——大キナ聲デ言ヘマセヌガ、色々ナ種類ノモノヲ生産費以下ニ賣ッテ居ル所モアリマセウ、人造絹絲ノ如キモ、或ハ其一ツカモ知レマセヌ、サウ云フ風ノ世界ノ事態デアリマスカラ是ガ「ダンピング」デアルカナイカハ分ラヌ、併ナガラ左様ナ値段デ日本ニ長ク入ッテ來ル値段ヲ押ヘテ關稅ヲ決メマスコトハ、私ハ少シモ不都合ハナイト考ヘテ居リマス、唯恐レル所ハ此上ニ何十圓ノ「ダンピング」ガ來ルヤ否ヤト云フ問題デアリマス、相當ノ値段ガ上ツタリ下ツタリスルコトハ、關稅ヲ決メマスカラハ相當ノ餘裕ガ置イテアリマス、アナタガ御覽ニナッテ日本ノ生産費ガ高イ安イト言ハレルナラバ、日本ノ人造絹絲ノ中ニモ非常ニ生産費ノ安イ所ト高イ所トアリマス、ソレノ大凡ソノ平均ト言ヒマスカ、餘リ生産費ノ高イ所ヲ押ヘタアトノ生産費ヲ見テ最低ノ伊太利絲ト考ヘテ居リマスカラ、其處ニ相當裕リハアリマス、此上三十圓、五十圓ノ價格ヲ安くシテ「ダンピング」ラシタラドウナルカ、ソレハ此關稅デハ防ギ切レヌカラ、日本ノ人造絹絲ハ大打撃ヲ受ケル、大打撃ヲ受ケタ時ニハ此關稅法ニアル「ダンピング」ノ箇條ヲ適用シテ之ヲ防グヨリ外ニ途ハゴザイマセヌ

○岡田委員 生産費ト云フモノハ能ク分ラヌト云フ仰セデスガ、分ラヌカラ日本ノ七十五圓ノ沖渡デ伊太利ノ絲ガ來ル、是ハ「ダンピング」カ何カ分ラヌ、唯永ク相場ガ七十五圓ト仰シヤッタカ、六十五圓ト仰シヤッタカ、立ッテ居ルトスレバソレヲ目標トシナケレバナラヌト仰セラレル、此七十五圓乃至六十五圓ノ沖渡ノ値段ガ「ダンピング」デアッタスルカ、之ニ依ルト百二十三圓ニナッテ居ルモノヲ、日本ニ於テ沖渡七十五圓ト云フナラバ、非常ニ開キガアル、是ハ常識上私共ハ「ダンピング」ト思フ、永ク續イテ居ルカラサウ思ハナケレバナラヌ、將來是ハ下ガルカモ知レスト云フナラバ、ドウシテモ其本國ニ於テ相當ノ利潤ガアルカナイカ、生産費ニ對シテドレダケノ利潤ガアリ、其利潤ヲ置イテ東洋ニ「ダンピング」ラシテ居ルト云フコトヲ想像シナケレバナラヌ、又或ル場合ニ於テハ本國デモ損ヲシ、出先デモ損ヲスル、世界ヲ壓倒シテ其後ニ大ニヤッテ行カウト云フ政策ヲ執ルカモ知レスト、サウスレバドウシテモ生産費ノ略、何處ニアルカト云フ列國ノ生産費、伊太利、獨逸邊リノ生産費ヲ調ベラレテ、其上ニ於テ此方策ヲ立テ、モ遅クハナイ、ソレヲ何ヲ苦シンデ急イデスルカ、列國ハ障壁ヲ高クセントスル形跡ガアリ、「ダンピング」ラセントスル形勢ガアル、此兩方カラ見テ危機ニ瀕シテ居ル工業品ニ對シテ、關稅ヲ撤廢シテモ宜イト云フマデノ大ナル理想ノ下ニ之ヲ急グノハ其理由ガ分ラヌ、問題ヲ局限シテ

急ぐ理由如何ト云フコトニ付テアナタノ御意見ヲ伺フテ見マセウ

○井上國務大臣 私ガ先刻岡田サンニ説明シタノヲ數字ニシテ説明致シマシタナラバ、能ク御分リ下サレルト思ヒマスガ、日本ノ人絹生産費ヲ百磅ニ付テ百三十六圓ト吾々ハ見タノデアリマス、ソレニ對シテ伊太利ノ最低價格ガ百磅七十九圓五十錢ト斯ウ見テ居リマス、政府委員ニ聞キマス私ガ申上ゲタノハ八十圓ノ利益ヲ其中ニ入レテ居リマシタ、隨テ百磅百二十六圓ノ物ガ百三十六圓ニナッテ居リマス、伊太利ノ最低價格ヲ七十五圓ト見テ、ソレニ四圓五十錢ノ陸上ダ費用ヲ見マシテ七十九圓五十錢、斯ウ云フ風ニ百磅ニ付テ伊太利ガ賣ルト、斯ウ見テ居リマス、ソコデ伊太利ノ七十五圓ニ賣ルノガ果シテ「ダンピング」デアルヤ否ヤト云フ問題ニナリマスガ、其點ニ付キマス「ダンピング」トモ見ラレル點モアリマセウガ、見ラレナイ點モアリマス、何故カト申シマス「ダンピング」ノ簡條ヲ適用スルニハ二ツノ條件ヲ必要トスルノデアリマシテ、果シテソレガ「ダンピング」デアルヤ否ヤト云フコトハ、吾々ハ是マデ種々様々ノ輸入品ヲ調べマスケレドモ、餘程困難デアリマス、隨ヒマシテ吾々ハ、必ズシモ之ヲ「ダンピング」デハナイト考ヘテ

居リマス爲ニ、只今ノヤウニ日本ノ生産費ト伊太利ノ最低價格カラ見マス其處ニ今回百斤ヲ百二十五圓、即チ四割下ゲルコトガ適當ト考ヘタノデアリマス、ソレナラバ日本ノ生産費ハドウデアルカ、伊太利ノ絲ガ五圓下ッテモ、モウ日本ノ人絹ニハ非常ナ打撃ヲ與ヘルヤ否ヤ、潰レテシマフカト言ヘバ、斯様ナ經濟界ノ變動ノアル時代デアリマスカラ、私ガ只今説明致シマシタ如ク、多少此生産費ト云フモノヲ不斷ヨリカ樂ニ見テ置クコトガ適當デアル、斯ウ云フコトデアリマシテ、日本ノ人絹會社ノ中ニハ非常ナ高イノガアリマス、サウ云フモノヲ一ニ除キマシテ取ッ

タノデ、此生産費デアルナラバ所謂商品ノ値動キ位ノコトナラバ大丈夫安全デアリマス、「ダンピング」デアルト今日ノ百二十五圓ノ關稅デモ防ギ得ナイノデアリマス、況ヤ之ヲ下ゲタ後ニハ防ギ切レマセヌガ、ソレニハ關稅法ニ依ッテ「ダンピング」ヲ防グ方法ガアリマスカラ、ソレヲ適用スル外ハナイト考ヘテ居リマス

○岡田委員 只今ノ大藏大臣ノ御意見ト云フモノハ、取リモ直サズ、其關稅ヲ引下ゲルト云フコトハ、日本ノ人絹製造ニ非常ナル不安ヲ與ヘ、危險ニ陷ラシムルコトニナル、即チ「ダンピング」ガ分ラヌ、「ダンピング」ノ値段ガ

分ラヌデヤナイカ、又「ダンピング」ノ法律ノ適用ハムツカシイト云フコトデアル、サウシテ一面ニ於テハ「ダンピング」ヲスルナラバ法律ニ適用スルガ、肥料ニ付テスラモ愚圖々々言ッテチットモ決ラヌデヤアリマセヌカ、アナタノ仰シヤル通り殊ニ國際ノ關係ガアルカラ、多小「ダンピング」致シテモ、國際上ノコトモアルカラ、是ハムツカシイコトハ私ガ申上ゲルマデモナイ、其「ダンピング」ヲ法律ヲ以テ已ムヲ得ナケレバ法律スルト云フコトハ、アナタノ議論ヲ裏切ルデハナイカ、殊ニ又此不景氣ノ際ニ於テ、各種ノ工場ト云フモノハ皆困難ヲ致シテ居ル際デアル、其際ニ限ッテ何故ニ急イデ之ヲヤラレルカ、「ダンピング」ノ競争ハ恐ロシイ、一面ニ於テハ製造工業ガ衰ヘテ居ル、其時ニ外國ノ競争ヲ多々益、多カラシメル所ノ方法ヲ急イデ執ルト云フコトハ何故デアリマスカ、急グト云フ理由ヲ聞キタイノデアリマス

○井上國務大臣 何故急グカト云フコトハ、斯ウ云フコトデアリマス、日本ノ人造絹絲ノ生産費モ段々下リマシテ、百斤百二十五圓ノ關稅ヲ四割下ゲマシタ、是ダケ下ゲテモ日本ノ人造絹絲ノ生産費カラ言ヘバ、之ヲ下ゲテモ今日ノ場合ナラバ少シモ差支ナイノデアリマス、斯ウ云フコトハ斷言シテ憚

ラヌデアリマス、唯問題ハ七十九圓、即チ七十五圓ノ伊太利ノ絲ガ、此上何十圓下ルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マス、此上三十圓モ五十圓モ下リマシタナラバ、ソレハ非常ナコトデアリマセウ、併ナガラソレハ總テノ商品ニ付テ「ダンピング」デ外國ガ持つテ來レバ、何時デモ同じ事情デアリマス、普通ノ關稅ノ決メ方デハ「ダンピング」ハ防ギ得ナイノデアリマス、隨テ「ダンピング」ノ簡條ハ輸入品ノ全部ニ適用スルコトノ出來ルヤウニ出來テ居リマス、ソレハヤルヨリ外ニアリマセヌ、ソナラ何故急グカ、モウ少シ待ッたら宜イデハナイカト申シマス、先ニ週ッテ來マシテ、今日日本ノ人絹ノ織物ガ急速ニ外國ニ出ルノデアリマス、其急速ニ外國ニ出ル所ニ乗ジテ保稅工場ノ希望者モ澤山アル、又一方カラ言ヘバ、日本ノ人造絹絲ヲ海外ニ發展セシメルト云フコトモ其處ニアル、即チ生産費ヲ下ゲテ、徒ニ關稅ノ保護ニ隱レテ勝手ヲスルト云フノヲ防ギ得ルノハ、斯様ナ時代ニアルト思フノデスカラ、宜イト思ッタナラバ、今日直チニ實行スルコトニ於テ私ハ惡イトハ考ヘテ居リマセヌ、只今言フ如ク、今日經濟界ノ變動ノ場合デモ、是ハ十分ニ是ナラバ用意シテ全キモノト考ヘテ居リマス

○岡田委員 委員長ハ御承知ニナッテ

居ラヌカ知ラヌガ、ドウモ私ハ分ラス、今御話ノヤウニ「ダンピング」ノ取締ヲ適用スルコトハムツカシイト云フコトハ重ネテ仰セラレテ居リマス、ムヅカシイノデアリマセウ、ソレデアリマスカラ若モ是ガ「ダンピング」ノ勢ヲ以テ來ル時ニ「ダンピング」ノ取締ハ適用出來ズ、一面ニハ關稅ハ政府ノ見込通りニ可決サレテ既ニ下ッテシマッタ、何ヲ以テ之ヲ防グノデアリマスカ、其危險ハ將ニ目前ニアルト云フノハ、

保護サレルカト云フコトガ、甚ダ懸念ニ堪ヘナイ、方策ガナイデナイカ、「ダンピング」ノ適用ハムツカシイト云フコトハ何人モ能ク承知シテ居ル所デアリマセウ、ソレデハ無謀デハアリマセヌカ、而モ私ハ更ニ進ンデ聞イテ置キタイノハ、此關稅ノ撤廢ニ依ッテドノ位ノ外國ノ絲ガ入ルト云フ御見込デアリマスカ、豫算ト對照シテノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣 岡田氏ノ只今ノ最後

先程私ガ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、井上大藏大臣ハ或ル程度マデハ御承知ニナッタヤウニ歐羅巴ニ於テ、亞米利加ニ於テ、餘剩品ヲ東洋市場ニ送ラウト云フ計畫ガアルヤウニ見受ケラレル、相當ノ程度マデ進ンデ居ルモノト見エル、商務官ノ報告モアリマスカラ、或ル程度マデハ是ハ確實デアルト私ハ思フ、尙ホ又伊太利ノ或ル會社ノ如キハ既ニ大ナル計畫ヲ以テ東洋ニ進出セントシテ居ル、是ハ確實ニ其計畫ガ出來テ居ル、其危險ノ際ニ於テ、殊ニ又不景氣デ以テ皆弱ッテ居ル際ニ於テ、關稅ヲ急イデ引下ゲテ見テ、何モソレニ對シテ防禦法ハ考ヘナイ、繰返シテ言フト「ダンピング」ノ法律ノ適用ハシ難イモノデアアル、關稅ヲ撤廢セラレタ時ニハ如何ナル責任ヲ以テ大藏大臣商工大臣ハ、此新興ノ人絹ト云フモノヲ

ノ質問ニ御答スルト全部ガ御分リ下サルト思ヒマスガ、吾々ハ關稅ヲ下ゲマシテモ、伊太利ノ人造絹絲ノ輸入ガ少シモ殖エヤウト豫想シテ居リマセヌ、豫算ノ上デモ其意味ニ於テ出來テ居リマス、即チ關稅ヲ下ゲテモ、此程度ナラバ輸入ハ殖エナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ先刻申上ゲマシタ如ク、今度ノ人造絹絲ノ關稅引下ハ、即チ保稅工場ヲ希望スル人カラ言ヘバ是モ完全デハナカラウ、併ナガラ百斤百二十五圓ト云フ高イ稅ヲ一度ニ理想ノ點マデ下ゲテ行クト云フコトハ、斯様ナ經濟界ノ時代ニハ避クベキコトデアアル、ソレナラバ順次關稅ヲ下ゲテ、日本ノ人造絹絲ノ生産費ガドレダケ下ッテ居ルカ、ソレヲ見極メテ段々下ゲテ行クノガ本當ト思ッテ此處マデ下ゲタノデア

リマス、ソレカラ「ダンピング」ガ此上來テモ急速ニ日本ノ法律デハ中々運バヌデハナイカト申シマスガ、岡田氏ノ言ハレルノハ一ツノ理窟デアリマスカ、人造絹絲ノ製造業者ガ是位ノ程度ノ關稅ヲ引下ゲテ置イテ、サウシテ此上「ダンピング」ハ行ヒ得ルカドウカト云フコトハ、伊太利ノ百封度七十五圓ト云フノモ、モウ可ナリ安イ値段デアリマス、是ガ「ダンピング」デアルカ、投資デアルカ、何ト言フカ知ラヌガ、可ナリ安イ値段デアアル、此上ニエライ下ゲ得ル餘地ハナイ、斯ウ考ヘル、又一方カラ言ヘバ此上エラク下ゲレバ確カナ「ダンピング」デアルト云フコトモハ「キリ致シマス、ソレニ依リマシテ、此上下ゲテ來レバ「ダンピング」ノ箇條ヲ適用シテ防ギ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ値頃カラ言ヒマシテモ、此上多ク下ゲレバ「ダンピング」ト云フコトハハ「キリシマス、サウ云フコトヲ考ヘテ居リマスカラ、御心配ニナルヤウナ危險ハ私ハ感じテ居ラヌノデゴザイマス

○岡田委員 折角御答辯デアリマスケレドモ、ドウモ益、私分リマセヌ、今關稅ヲ下ゲレバ其爲ニ伊太利ノ絲ハ多ク入ラスト云フガ、豫算ハサウスルト關稅ハ四割ヲ減ジタラ四割ハ減ニナッテ居リマスカ、サウナッテ居リマスカ、豫算ハ何十萬圓減ッテ居リマスカ

○飯田大藏書記官 昨日御手許エ差出シマシタ表ニ四割減ズルト云フコトニ致シテ居リマス、關稅ノ收入ガ四割減ズル、是ダケデゴザイマス、數量ニハ變リガナイト云フ見込デゴザイマス

○岡田委員 サウ致シマス日本ニ入ル數量ハ増サヌ、唯ソレダケノ同一ノ數量ニ對シテ關稅ガ下ルノダ、是ダケノコトデアリマスカ、ソレデ間違アリマセヌカ

○井上國務大臣 其通りデゴザイマス

○岡田委員 尙ホ伺ヒマスガ、伊太利ノ生産費ト云フモノガ能ク分ラス、併ナガラ是レ以上ハモウ下ラスト思フ、値頃ト云フモノハ此位ノ程度デアラウト思フ、是レ以上下レバ「ダンピング」デアアル、斯ウ云フ大臣ノ仰セト云フモノハ一向根據ナキモノト思フ、伊太利ノ生産費ガ分ラス、根本義ハ生産費ヲ立脚點ト致シテ「ダンピング」ハ測ルノデアラウト思ヒマス、其生産費ガ分ラスト云フコトニナッテ居ッテ、サウシテ一面ニ於テハ結論トシテハ是レ以上ハ下ラス、若シ下レバ「ダンピング」ト思フト云フコトハ、列國ニハ通用セヌ言葉ト思フ、妄斷デアラウト私ハ思フ、モット詳細ニ御説明ヲ戴カナケレバ分リマセヌ

○井上國務大臣 斯ウ御答シテ宜シイ

ノデアリマス、百封度七十九圓五十錢  
ト云フ伊太利ノ絲ヲ今日日本ニ賣ルト  
斯ウ致シマス、其七十九圓五十錢ト云  
フ絲ガ此上、五圓ヤ七圓下ガリマシテ  
モ、即チ時ノ狀況ニ依ッテ、需用供給ノ  
道理ニ依ッテ下ガッタ位ノ値段デアレ  
バ、日本ノ人造絹絲ニハ打撃ヲ與ヘナ  
イト云フ位ニ今日經濟界ハ急激ニ變動  
スル時デアルノダカラ、ソレ位ノ裕リ  
ヲ置イテ關稅引下ヲ致シテ居リマス、  
斯ウ云フ一ツノ御答デアリマス、モウ  
一ツハ七十九圓五十錢ハ生産費ガ分カ  
ラヌケレバ、此上二十圓三十圓下ッテモ  
是ガ「ダンピング」カドウカ分ラヌト  
言ハレマスガ、成程伊太利ノハ、キリシ  
タ生産費ハ分リマセヌ、併ナガラ大體  
世界ノ値段カラ推シマシテ、七十五圓  
ト云フノガ、先刻申シマシタヤウニ此  
上十圓下ッテ六十五圓ト云フヤウナ豫  
想ヲシテ考ヘテ見マス、此上二十圓、  
三十圓下ガレバ世界ノ人造絹絲ノ値段  
カラ、又賣買サレテ居ル値段カラ、ド  
ンナコトヲシテ考ヘテ見マシテモ、是  
ガ「ダンピング」デアルト云フコトノ  
推察ハ確ニ届キマス、ソレハ間違ナイ  
ト考ヘテ居リマス、ソコノ二ツノ事柄  
ヲ考ヘマシテ、是程伊太利ノ絲ノ値段  
ヲ下ゲテ賣ッテ居ルノデアルカラ、此上  
二十圓三十圓下ルコトガ「ダンピング」  
デアルコトハ間違ヒナイ、ソレナラ五

圓十圓下ッテモ相當ノ裕リガ置イテア  
ルカラ、只今輸入ガ殖エナイ、關稅ヲ  
下ゲナガラ輸入ハ少シモ殖エマセヌト  
云フコトノ御話ガアリマシタガ、安全  
率ガ取ッテアルカラ大丈夫デアリマス、  
斯ウ申上ゲテ宜シイノデアリマス、  
○岡田委員 私ハドウ致シテモ分ラヌ  
ノデアリマスガ、第一ニ打撃ガナイト  
云フ證據ヲ日本ノ人絹ノ織物ニ打撃ガ  
ナイト云フ、ナイ程度ニ下ゲテハ效能  
ガナイデハナイカ、或ル程度迄下ゲナ  
ケレバアナタノ目的ハ達セラレナイ、  
内地ノ一般ノ人絹ニ影響アラシメル爲  
ニハ、多クノ輸入ガナケレバハ影響  
致シマセヌ、ソレ以上輸入數量ヲ増サ  
ヌノダト云フ以上ハ打撃ガナイデアリ  
マセウ、ナイト云フコトナラバ何ノ爲  
ニ此關稅ヲ下ゲルノカ、積極的ニモ消  
極的ニモ其意見ノアル所ヲ知ルニ苦シ  
ム、又第二ニ生産費ト云フモノガ分ラ  
ヌ、殊ニ商工省當局ノ昨日ノ御話デハ、  
ソレハ調ベヤウトシテモ中々祕密デア  
ルト言ハレル、ソレモ御尤デアリマセ  
ウ、ソレデアルカラ机上論デナク、「ダ  
ンピング」デアルカナイカト云フコト  
推察ハ確ニ届キマス、ソレハ間違ナイ  
ト考ヘテ居リマス、ソコノ二ツノ事柄  
ヲ考ヘマシテ、是程伊太利ノ絲ノ値段  
ヲ下ゲテ賣ッテ居ルノデアルカラ、此上  
二十圓三十圓下ルコトガ「ダンピング」  
デアルコトハ間違ヒナイ、ソレナラ五

ト無防禦ノ儘置カレルノデアリマセ  
ウ、繰返シテ言フヤウニ、伊太利ニ於  
テモ或ル何トカ云フ會社ノ如キモノ  
ハ、近ク近東方面ニ發展ヲ企テ、延イ  
テハ極東方面ニ手先ヲ伸バスニ至ルモ  
ノナルガ、偶、此地方ニハ一大敵國ノ存  
在スルアリ、故ニ何物ヲ犠牲ニ供シテ  
モ日本ノ競争ニ勝タザルベカラズト云  
フコトヲ此會社ハ決心シテ居ル、又既  
ニ度々言ウタ通りニ、歐羅巴・亞米利加  
ノ「カルテル」ガ出來テ居ルト云フコ  
トデアルナラバ、ヨリ大ナル「ダンピ  
ング」ヲスル力ガ出來テ來ルデハナイ  
カ、向フデハ相當生産費ヲ償フダケノ  
モノヲ賣ッテ居ッテ、餘リハ捨賣リスル  
コトガ出來ルデハナイカ、斯様ナ危險  
ガアルニ對シテ、唯打撃ガ少シモナイ  
カラ、先ヅ斯ウシテ置イテ段々下ゲル  
ノダト云フ大臣ノ御答辯デアリマシテ  
ハ、私ハ何故今日急イデスルカト云フ  
コトノ其權衡論ガ分ラヌ、此危險ト打  
撃ガナイト云フコトノ一ツノ積極的ノ  
理由ト認メルナラバ、其危險ノ方ガ大  
デアアル、サウ致シマス昨日ノ商工大  
臣ノ御答辯ト、只今ノ大藏大臣ノ御答  
辯ト云フモノハ、私ニハ諒解出來スト  
思フノデアリマス、若シ御答辯ガアリ  
マスナラバ聽キタイト思ヒマス

十五圓ト云フ非常ナ高イ關稅ガ掛ッテ  
居リマスモノヲ、今日ノ經濟界ノ狀態  
ニ於テ、直チニ效果ノアルヤウニ輸入  
關稅ヲ下ゲテ、ドン／＼伊太利カラ巨  
額ノ人造絹絲ガ入ッテ來マヌヤウニ下  
ゲマシタナラバ、岡田サンノ言フヤウ  
ナ大ナル打撃デアリマス、併ナガラ一  
方ニハ高イ關稅ヲ保護サレテ居ル品物  
ハ、殊ニ不當ニ高イ關稅ニ保護サレテ  
居ル人造絹絲ガアルト致シマシタナラ  
バ、ソレハ日本ノ人造絹絲ノ將來發達  
スベキ途デナイト考ヘマス、サウ云フ  
コトガアルカラ一方ニハ保稅工場ヲ非  
常ニ要求スル人ノアルノモ亦無理ノナ  
イ話デアリマス、ソレデアリマスカラ  
今日或程度ノ關稅ヲ下ゲテ置ク、併ナ  
ガラ人造絹絲ノ大事ナ工場デアリマス  
カラ、直チニ打撃ガアッテハイカヌ、殊  
ニ今日ノヤウナ經濟界デアリ、成タケ  
安全率ヲ取ッテ關稅率ヲ下ゲヤウ、斯ウ  
云フコトデアリマスガ、ソレナラバ何  
ノ效ガアルカト云フト、先刻私が申し  
タ如ク、關稅ハ今後段々下ゲマス、  
隨テ生産費ヲ下ゲテ大ニ外國品ト競争  
ノ出來ルヤウニ、今日ノヤウナ高イ關  
稅ヲ保護サレズトモ濟ムヤウニ、人造  
絹絲事業ト云フモノヲ精出シテヤラナ  
クチャイカヌト云フコトヲ一方ニ示  
シ、一方ニハ將來ノ理想カラ保稅工場  
ト云フヤウナ、全體ノ織物業者ニ利益

ノ均需ヲ與ヘナイヤウナ制度ヲ行フコトハ不都合デアリマスカラ、ソレヲ將來ニハ要ラスヤウニシヨウ、斯ウ云フニツノ事情カラシテ行キマシタノデ、即チ一方關稅ヲ下ゲテ、ソレニ依ッテ日本ノ人造絹絲ノ生産費が下ッテ、隨テ又直グ下ゲマス、モウ一遍下ゲマス、サウシテ行ケバ理想ニ達スルト思ヒマス、御覽下サルト分リマスガ、百斤百二十五圓ト云フ時價デアルガ、殆ド百「バーセント」ノ關稅ガ課ッテ居ルヤウニ保護サレテ居ル人造絹絲ヲ、岡田サノ言フヤウニ其人造絹絲ニ效果ノアルヤウニ一度ニ下ゲタラバ、是非非常ナ無理ガ行クト考ヘテ、斯様ナ途ヲ取ッテ漸次理想ニ達スル積リデアリマス

**○岡田委員** 私ノ今危險ニ瀕シテ居ルト云フコトハ、是ハ大藏大臣モ危險ト云フ解釋ハ壓迫ガ段々増シツ、アル、増ス傾向ガアルト云フコトヲ大藏大臣モ認メテ居ルノデ、此危險ガアル一面ニハ國內ニ於テハ不景氣ガ襲來致シテ居ルト云フ此際ニ、サウ云フヤウナ將來ノ理想ヲ以テ、而モ現在ニ於テハ殆ド其效果ノ認ムベキモノガナイト云フコトヲ自白サレナガラ、左様ナモノヲ唯理想ノ一端ダトシテ説明サレルコトハ間違ッテ居ルト斯様ニ思フノデアリマス、一面ニ於テハ保稅工場ト云フコトモ御話ニナルガ、保稅工場ハ保稅工場、關稅ハ關稅デアアル、保稅工場ヲ許スコトハ將來ハ許ス希望ガアツテモ、許スト困ルカラ俺ハ關稅ヲ下ゲル、是ハ關聯シテ居ルヤウデ何モ關聯シテ居ラヌ問題ト私ハ解釋スルノデアリマス、ノミナラズ關稅ヲ下ゲテ、サウシテ外國トノ競争ヲサシテ、其結果壓迫シテ此生産費ヲ下ゲテ行クト云フコトハ、餘リ政府ハ關稅政策ヲ弄スルヤウニ私ハ思フ、恰モ政府ハ緊縮政策デ農村ニマデ緊縮サシテ、續イテ農村ガ疲弊ヲ致シテ居ルト云フコトヲ井上大藏大臣ハ御承知ナラヌデアリマスカ、吾々ハサウ思ッテ居ル、少クモ此緊縮政策ト云フモノハ大部分ノ影響ヲ爲シテ居ルト見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、關稅ヲ下ゲテ以テ教訓ヲ與ヘテ、サウシテオ前ハ斯ウ云フ運命ニ曝サレテ居ルカラ生産費ヲ下ゲルト云フコトハ、餘リニ生産工場ニ居ル者ヲ子供扱ニスルモノデアアル、ソレハ餘リ酷イ、生産工場ハ自ラ考ヘテ外國ニ出スダケノモノヲ拵ヘタラ宜イ、現ニ日本ニ於ケル所ノ人絹ノ生産ノ六割ト云フモノハ、私ノ申上ゲルマデモナク外國ニ出テ居ル、ソレハ立石君カラ此前ニ聽イタノデアリマス、六割ト云フモノハ是ハ織物トシテ外國ニ出ス分デアアル、外國ノモノハドウナルカト言ヘバ、此間頂戴致シマシタ所ノ織物ニ對スル外國ノ關稅ハ隨分高イ、其高イ障壁ヲ超シテ日本ノ人絹織物ハ出テ行クノデアアルカラ、自己防衛ト云フコトハ人絹業者ハ知ッテ居ル筈デアリマス、高イ障壁ヲ超ス爲ニハ織物ヲ安クシナケレバ、自己ノ織物が賣レナイデハナイカ、之ヲ賣ルニハ其織物業者ガ外國ノ關稅ヲ突破シテ、向フノ織物ト競争ヲスルコトハ是ハ商機デアッテ、何モ大藏省ハ干涉セヌデモ宜イ、唯危險ニ曝セヌダケノコトヲ御講ジ下サレバ宜イ、即チ關稅ヲ上ゲル下ゲルト云フコトハ日本ノ人絹ノ輸出ニハ何モ關係ハナイノデアアル、故ニ之ヲ急イデヤラヌデモ暫ク世界ノ推移ヲ見テ、而モ一面ニハ六割ノ輸出ガアルカラ、其行先ヲ見テ其上デ方策ヲ立テ、モ宜イノデアッテ、何モソナ水ヲ飲ムヤウナ、蠟ヲ嚙ムヤウナ簡單ナ平凡ナ理由ノ下ニ、其様ナル大冒險ヲ爲サルト云フコトハ、私ハ甚ダ執ラザル所デアルト存ジマス、之ニ對シテハ如何ナル御考デアリマセウカ、更ニ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

**○井上國務大臣** 極ク簡單ニ申シマシタラバ御分リ下サルト思ヒマスガ、日本ノ人絹ガ百二十五圓ト假ニ百三十圓デ賣ッタト致シマス、ソレヲ以テ外國輸出ノ織物ヲ拵ヘナケレバナラヌ日本ト、日本マデ持ッテ來テ八十圓デ賣レル伊太利ノ絲ヲ原料トシテ、ソレデ織物ヲ拵ヘテ世界ノ市場デ競争シマス、斯ウ言ヒマシタラバ他ニ技術ガエライ優レテ居リマスト云フコトモ想像センケレバ勝チヤウガナイ、サウデアリマスカラドウシテモ理想ハ、伊太利ガ八十圓デ賣ルコトハ「ダンピング」デアルカ何デアアルカ知リマセヌガ、ドッチニシテモ日本ノ人造絹絲ヨリ安イノデス、日本ノ人造絹絲モ是カラ先キ安クシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ當然ノ義ト考ヘテ居リマス、ソコデ吾等ノ理想ハアルノデアリマス、岡田サノハサウ仰セラレヌヤウダケレドモ、伊太利ノ人造絹絲ト日本ノ人造絹絲トハッキリ何十圓ト違ヒマスカラ、ソレヲ此儘ニシテ置イテ日本ノ人造絹絲ノ織物が將來マデ安全ニ大ニ輸出ガ出來ルト云フコトヲ考ヘルコトモ、非常ナ私ハ間違ダラウト思フ、ソコデアルカラ將來ニ生クベキ途ハ日本ノ人造絹絲ノ生産費ヲ安クスルヨリ外ニ途ハナイト考ヘテ居リマス

**○櫛部委員** 既ニ約束ノ時間モ過ギテ居リマスカラ、質問打切りノ動議ヲ提出致シマス

**○永田委員長** 昨日來色々御相談致シタ……(質問中デアアル「ソナナ横暴ナコトガアルカ」ト呼フ者アリ)櫛部君カラ御發議ガアリマシタガ、昨日來此問題ニ付キマシテハ色々御相談ヲ致シ

テ居リマス、且ツ大藏大臣ハ先程モ貴族院ノ減税委員會ニ三時マデ猶豫ヲ求メマシラ、サウシテ此處ニ御出席ヲ願フテ居ルノデアリマシテ、其事ハ非公式ナガラ御傳ヘラシテ居リマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、大藏大臣ハ此際御退席ヲ願ヒマシテ已ムヲ得ヌコト、思ヒマス（大藏大臣ニ質問ガアル）ト呼フ者アリ）就キマシテハ櫛部君ノ御發議デアリマスガ——櫛部君ノ御發議ハ……（質問ノ要點ニ達シテ居ルモノヲ切ツテ行クト云フコトハ宜シクナイ）ト呼フ者アリ）

○井上國務大臣 一寸向フヲ三時マデ休憩シテ貰フテ、三時ニナツテカラ——三時ニナツテ又向フガ濟ミマシタラ此方ニ參リマス

○永田委員長 サウ云フ風ニ進ンデ居リマスカラ、櫛部君ノ御發議デアリマスガ、モウ暫ク大藏大臣ニモ御退席ヲ願ヒマシテ繼續シタイト思ヒマス

○櫛部委員 只今ノ動議ヲ撤回致シマス

○岡田委員 「ダンピング」ノコトニ付テモウ少シ討議シナケレバ分ラヌコトガアル、ソレヲアナタハ櫛部君ノ動議ダカラト言ッテ途中デ止メヤウトスル、之ヲドウスル……

○永田委員長 ソレハ大藏大臣ガ參リマシタラ……

○岡田委員 モノト云フモノハ續イテヤラナケレバ又元ニ戻リマスヨ、アナタハ構ハナケレバ宜シイ、少クトモ私ニ對シテ御相談ガアッテ然ルベキデハナイカ、之ヲ切ルト云フコトナラバ、三時ト云フテモ既ニ十五分モ二十分モ過ギテ居ルデヤナイカ、委員長トシテ餘リ横暴デアルト思フ

○永田委員長 三時ニ向フガ濟ンデ……

○岡田委員 何故ニ私ニ仰シヤラスカ

○永田委員長 一應御相談シテ居リマス

○岡田委員 ソンナコトハ交渉シテナイ

○永田委員長 岡田サン、引續イテ商工大臣ニ御話ハアリマセヌナ、大藏大臣ノ來ラレルマデ……先程村田サン御發議ガアリマシタガ、如何ニナサイマス

○村田委員 至ッテ私ハ簡單デアリマス、私が先刻來ノ大藏大臣ノ御説明ガ私共ノ戴イテ居ル材料トント符合致シマセヌ、門外漢デアアル私ニハトント理解シ兼ネルノデアリマス、其點ヲ二三御伺シマス

○侯國務大臣 一寸村田君ニ御相談致シマスガ、大藏大臣ノ御答シタコトニ付テノコトナラ大藏大臣ニ御尋下スツタ方ガ——チグハグニナツテ反テ混亂

シマスガ……

○村田委員 是ハ兩方カラ御廻シニナッタ此人造絹絲ニ關スルコトハ……

○永田委員長 政府カラ大體説明シタラドウデス

○村田委員 此戴イタ説明書ニハ先刻來繰返サレテ居リマス通りニ、人造絹絲ノ輸入數量ハ關稅ヲ引下ゲルモ、大體増減ナキ見込ナリト云フ、此意味ヲ此間カラ繰返シ伺ッテ居ルノデアリマスガ、私共ニハ此點ガ先以テ理解ガ出來ナイノデアリマス、何故ナラバ關稅ヲ安クシテ外國品ノ輸入ヲ増加セシメテデナケレバ、内地ニ於ケル人造絹絲ノ生産品ヲ下ゲシメルマデノ刺戟ヲ與ヘナイモノダト私ハ常識的ニ考ヘテ居リマス、然ルニ増減ガナイ見込デアアル、斯ウ言ヒナガラ關稅ヲ下ゲルコトニ依ッテ刺戟スルト云フ理窟ガ分ラヌ、外國品ノ關稅ガ下ル、外國品ガ來ル、サウシテ日本ノ生産品ヲ壓迫スル、是ニ於テ人絹製造者ハ考ヘザルヲ得ズ、ト云フノデ、生産費ノ引下ヲ以テ對抗シテ行クト云フナラバ、話ハ實ニ能ク分ルノデアリマスガ、此點ガ政府ガ御説明ニナリマシタ三十一萬幾ラノ關稅ノ收入ガ見込デアッテ、即チ數量ノ上ニハ増加シナイト云フコトヲ數字ノニ御示ニナツテ居ル、此理窟ガ分ラナイノガ一ツ、ソレカラ第二ニハ頂戴シテ居ル所

ノ外國人絹ノ輸入ト云フモノガ、昭和三年度ト五年度ト比較スルト、倍額ニ増加シテ居ル、此原因ハ私共承知致シマセヌガ、數字ノ示ス所ガ、現在ノ關稅アルニ拘ラズ、三年ニ比シテ五年ガ倍額ニ達シテ居ル、然ラバ現在ノ關稅ハ強チ輸入ヲ防グ效用ヲ爲シテ居ラナイ、其難關ヲ突破シテ外國品ガ來テ居ルト云フコトガ、私共ニ分ルノデアリマスガ、之ニ拘ラズ尙ホ關稅ヲ少クスルト云フコトハ、如何ナル理由デアルカト云フコトガ第二デアリマス、第三ニハ左様ナ見地カラ致シマス、我國ノ人造絹絲ハ相當順境ニ在ルトハ申シナガラ、尙ホ創業ノ時代ト私共ニハ見ラレ

ルノデアリマス、其創業ノ時代ニ於テ、直チニ關稅ノ上ゲ下ゲト云フコトニ依ッテ、内地ノ産業ニ反省ヲ促ス爲メデハゴザイマセウガ、生産費ヲ此場合下ゲナケレバナラヌト云フ刺戟スルコトガ、果シテ是ガ現在ノ時代ニ適切ナ要求ト見ルベキモノデアラウカドウ

カ、其點ニ私ハ疑ヲ持ツモノデアリマス、其次ニ伊太利ノ値段ニ付キマシテ、之ヲ能ク御承知願ヒタイノデスガ、先日私共ガ戴キマシタ表ハ、何トカ年鑑ニアルト云フコトデアリマシテ、先日私ハ其年鑑ハ何年度ノモノヲ示シタノ

カト云フコトヲ御尋シマシタガ、私ノ問ニ對シテハ御答ガナカッタノデアリ

タ方ガ——チグハグニナツテ反テ混亂

マス、同僚ノ方ニ聞クト、ソレハモウ古イ年鑑デ、今時ノモノデハナイ、當テニナラヌト云フコトヲ伺ヒマシテ、半バ了解致シマシタガ、併ナガラ私ノ手許ニ來テ居ルノハ、外國ノ生産費ト云フモノニ付テ表ヲ頂戴シテ居ルノデアリマスガ、之ニ依レバ、伊太利ノ生産費ガ百三十圓ト云フ表ヲ戴イテ居リマス、是ガ七十圓デ賣ラレテ居ルノデアリマス、假ニ八十圓以内ノ生産費トシテモ、私共了解ニ苦シムノデアリマス、デアリマスカラ、同僚ガ示シタヤウナ親切ヲ以テ、其年鑑ガ古イモノデアリナラバ、今時伊太利ノ生産費ハ此様ナ見當ドラウト云フコトヲ教ヘテ戴カナケレバ、材料ト一致シマセスカラ、何時マデモ了解ガ出來ナイノデアリマス、私ノ質問ハ先ヅ大體以上ノ如クデアリマシテ、現在ノ稅率ノ存在ニ拘ラズ、輸入ハ昭和三年ニ比シテ五年ガ増加シテ居ルカラ、現在ノ關稅ハ強チ外國品ノ輸入ヲ防止スル力ヲ持ッテ居ラナイ、ソレ程ノ程度ニハ至ッテ居ラナイト云フコトガ證據立テラレテ居ル、我國ノ人絹業ハ戴イテ居リマス表ニ依ルト、昭和五年度ニ於テ非常ナ躍進ヲシテ居ル、漸進ト云フヨリモ躍進ヲシテ居ル、此機會ヲ選ンデ又更ニ生産費ノ低減ヲ促スベキ刺激ヲ與ヘルト云フコトガ、果シテ是ガ理性ノ上カラ左様ニ考

フベキモノデアルカドウカト云フコトニ付テ、多大ノ疑ヲ存シマス、之ニ付テハ絹業者ト人絹業者トノ色々ノ關係ヲ大藏大臣ハ御話ニナリマシタガ、私ノ質問ノ通り當局トシテ大局ノ上カラ見テ、國策ノ上カラ考ヘテ、現在ノ生産業者ニ向ッテ、此機會ヲ選ンデ刺激ヲ與ヘルコトガ、ドノ點カラ見テ左様ニセラレルノカ、左様ナ小サイ所カラ見ナイデ、大局カラ見テドウカ、小サイ大キイト云フ議論ニナレバ、之ヲ數字ノ上カラ論ジテ戴キタイ、生産者ニドノ位ノ刺激ヲ與ヘルカ、企業者其他ノモノニ向ッテドレダケノ效果ヲ與ヘルカ、其效果ト一方ニ受クル損失、之ヲ比較シテ戴カナケレバ、對照考覈致サナケレバ自ラ利害ノ判斷ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、是等ノ點ハ極メテ簡單ニ申上ゲタノデアリマスカラ、御理解下サルコト、存ジマス、私ハ理窟ヲ申上ゲルノデハナイ、親切ニ此疑ヲ解イテ戴キタイノデアリマ

○立石政府委員 第一ノ質問ハ此度關稅ノ率ヲ引下ゲテモ外國カラ入ッテ來ル伊太利ノ人絹ノ數量ハ殖エル虞ハナイ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フ御尋デアッタト存ジマス、昨日岡田サンノ御質問デ伊太利ノ會社ノ生産費ガ分ラナイ以上ハ、關稅率ヲ盛ルコトガ出

來ナイデハナイカト云フ御議論的ノ質問ガアリマシタガ、私ハ其際ニ必ズシモ生産費ハ見ナイデモ宜シイ、向カラ日本ヘ賣ッテ來ル値段段ト日本ノ會社ノ生産費ノ差額ヲ一應見テ、是デ以テ關稅率ヲ定メテ宜イデハナイカ、併シソレハ今下ゲル場合デアリマスガ、假ニ新設ノ場合ヲ想像シテ申上ゲマスガ、新ニ關稅率ヲ設ケタ、其關稅率ガ果シテ消費者ニ轉嫁シテ行クカ、或ハ生産者ノ方ニ轉嫁シテ行クカト云フ問題ガ其處ニ起ルノデアリマス、一般ノ場合ニ於キマシテハ、大抵ノ商品ト云フモノハ、商賣品デアリマスルガ故ニ、多少ノ利潤ヲ見テ賣ッテ居ルノガ當然デアリマス、故ニ關稅率ヲ或ル程度上ゲマシテモ、或ハ新設致シマシテモ、其全部ガ消費者ニ轉嫁スルモノトハ思ッテ居リマセス、一部分ハ舊來ノ利潤ヲ引下ゲルコトニ依ッテ生産者ガ自ラ負擔スルト云フ傾向ガ起ルノデアリマ

ス、其「バーセンテージ」ガドウナルカト云フコトハ中々判斷スルコトハ出來マセス、ヤッテ見タ結果デナケレバ分リマセスガ、一圓五十錢稅率ヲ上ゲテモ其品物ガ一圓五十錢必ズ上ルカト云フト、サウデハナイト思ヒマス、或ハ七十錢、場合ニ依ッテハ三十錢位上ルト云フノガ普通ノ狀態デアリマス、而シテ人絹ノ場合ヲ考ヘマスルト、ソレハ今

日日本ノ敵トナッテ居ル人絹ハ伊太利ノモノガ大部分デアリマス、而シテ伊太利ノ人絹ガ果シテドノ位ノ利潤ヲ得テ日本ニ賣ッテ居ルノカト云フコトヲ考察スル必要ガ勿論アルト思ヒマス、其點ニ於テ伊太利ノ人絹ノ生産費ヲ知ル必要ハゴザイマス、然ラザレバ、此關稅率ガ生産者ニ轉嫁シテ行クノカ、消費者ノ方ヘ轉嫁シテ行クノカ、生産費ヲ知ルニアラザレバ要スルニ分リマセスガ、併ナガラ伊太利ノ人絹ヲ造ッテ居リマス「スニア」工場トカ色々ノ工場ノ業績ト云フヤウナモノ、又伊太利ニ於ケル景氣、或ハ歐洲ニ於ケル景氣ト云フヤウナモノヲ考ヘ、又其會社ガ伊太利ノ内地ニ賣ッテ居ル値段、サウ云フヤウナ色々ナ事情ヲ考察致シマスト、日本ニ持ッテ來テ居ル伊太利ノ絲ハ利潤ヲ得テ居ナイト云フコトハ推斷シテ誤ラナイト思フノデアリマス、寧ろ内地ニ於ケル「オーバー」プロダクシヨン」ヲ整理スル爲ニ、内地ノ方デハ相當ノ儲ヲシテモ其利潤ヲ割イテモ、外國ノ方ヘ或量ヲ捌イテ居ルト云フノガ實情デハナイカト考ヘマス故ニ、此場合關稅率ヲ新設致シタトシマシテモ、ソレダケノ價格ハ客觀的ニ考ヘマシレバ、生産者ノ方ヘ轉嫁セズニ、消費者ノ方ニ轉嫁スベキ性質ヲ持ッテ居リマス、故ニ上ゲタダケ——今日ハ下ゲタ

ノデアリマスガ、上ゲタダケ其價格ガ  
高クナルノデアリマスカラ、ソレダケ  
日本ノ生産者ヲ保護スルコト云フ實情ニ  
此人絹ニ付テハ陷ルト思フノデアリマ  
ス、併ナガラ此人絹ニ付テハ更ニモウ  
一ツ考ヘナケレバナラヌコトガアリマ  
ス、今日百二十五圓百斤ニ付テ關稅ガ  
課ッテ居リマスガ、實際伊太利カラ日本  
ニ持ッテ來テ居ルノハ八十圓乃至九十  
圓ト云フ程度ノモノデアリマス、ソレ  
ガ日本ニ賣レテ居ル賣價ハソシナモノ  
デハアリマセヌガ、ソレト同格ノ日本  
ノ絲ノ賣レテ居ル賣價ハ百三十圓カラ  
好イ時ハ百四十圓、惡イ時ハ百二十五  
圓ニナル、故ニ其差額ト云フモノハ僅  
カ三四十圓ニ過ギナイノデアリマス、  
故ニ百二十五圓ノ關稅ガ課ッテ居ルガ、  
實際關稅トシテ働イテ居ル部分ハ三四  
十圓ニ過ギナイト云フ狀況デアリマ  
ス、故ニ此度之ヲ七十圓ニ下ゲタカラ  
ト申シマシテ、三四十圓シカ實際働イ  
テナイ、場合ニ依ッテ五十圓六十圓位働  
ク場合モアリマセウガ、ソレヲ七十圓  
ニ下ゲタカラト云ウテ、日本ノ人絹ノ  
値段ヲ下ゲルコトハナイト思ヒマス、  
下ゲルコトハナイガ故ニ輸入ノ増減ハ  
ナイト思ッテ居リマス、而シテ伊太利ノ  
生産費ハ正確ナコトハ昨日申上ゲマシ  
タ通りニ分リマセヌガ、先ヅ日本ノ生  
産費ニ近イモノト云フコトハ、是ハ工  
業界一般ノ御方々ノ常識カラモ、亦吾  
吾ノ方ニ居リマスサウ云フ専門ノ技術  
家ノ常識デ判斷致シマシテモ、伊太利  
ノ生産費モ、吾々ノ日本ニ於ケル生産  
費モ大差ナイモノト御覽下サッテ差支  
アリマセヌ、併ナガラ伊太利カラ持ッ  
來ルノハ生産費ノ外ニ、申ス迄モナク  
運賃或ハ保險料、金利、荷揚料ト云ッ  
ヤウナモノガ掛リマスカラ、向フノ方  
ガ餘程高ク付クノデアリマス、故ニ若  
シ伊太利ニ於テ今日ノヤウナ特別ノ政  
策ヲ執ッテ居ナイ限リハ、サウ憂フベキ  
モノデナイト思フノデアリマス、併ナ  
ガラ彼等ハ今特別ノ政策ヲ執ッテ居リ  
マスルガ故ニ、コチラデモ特別ノ關稅  
ヲ以テ對抗シテ行カナケレバナラヌト  
斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルト心得テ  
居リマス、然ラバ更ニ進ンデ今日ソシ  
ナ役ニ立タヌ關稅ノ引下ヤッタッテ仕  
方ガナイデハナイカト云フ御質問モ  
アッタヤウニ思ヒマスガ、ソレハサウデ  
ナイト思ヒマス、ト申上ゲマスルコト  
ハ此日本ノ機屋サント云フモノハ人絹  
會社ヨリモ實ハ先ニ出來テ居ッタノデ  
アリマス、人絹會社ガ出來テ其附屬工  
場トシテ機屋ガ出來タ譯デハナイノデ  
アリマス、機屋ハ首ヲ長クシテ人絹工  
場ノ發達ヲ待ッテ居ッタノデアル、時偶  
絹織物ノ不況ニ際會シテ機屋ハ相當萎  
縮シテ居ッタモノモアッタ、其處ヘ持ッ  
來テ人絹工場ガ興ッテ來タカラ、日本ノ  
人絹工業ト云フモノハ織物トシテ非常  
ナル發達ヲ來シタ、故ニ人絹工業家ト  
人絹織物業者ト云フモノハ御互ニ極メ  
テ因縁ノ深イ仲ノ好イ間柄デアルベキ  
モノト私ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ  
サウ云フ狀態ニ發達シタ工業デアリマ  
スルガ故ニ、場合ニ依ッテ生絲ノ値段  
ガ少シ好クナッテ來タ、外國ニ向ッテ賣  
レ方ガ良クナッテ來タト云フト、人絹織  
物ヲ廢メテ絹ノ方ヘ向ヒ、或ハ絹紬ヘ  
向ヒ、自由自在ニ方向轉換ガ出來ルヤ  
ウニナッテ居リマス、ソレカラ又逆ニ人  
絹工業ガ非常ニ賣行ガ好イゾ、斯ウ云  
フ時ニナリマスと又ウワースト絹ヲ廢  
メテ人絹工業ニ向ッテ來ル、斯ウ云フコ  
トガ間々起ルノデアリマス、サウ致シ  
マスと成程日本ノ人絹工業ハ百三十圓  
デアレバ十分宜イモノガ、ウワースト人  
絹工業ニ機屋サンガ向フ爲ニ、茲ニ會  
社ト機屋ガ直接ノ賣買契約ヲシテ居レ  
バ兎ニ角、中間ニ色々ノ商人ガ居リマ  
ス關係上、色々ノ投機作用ガ起ッテ  
來テ、篋棒ニギユット値段ガ上テ行ク  
ト云フコトガ起ルノデアリマス、ソレ  
ガ爲ニ機屋サンハ非常ニ迷惑致シマ  
ス、而シテ人絹ト云フモノハ何處マデ  
騰ルカト云フト、極端ナコトヲ申上ゲ  
マスと、百二十五圓關稅ガ課ッテ居レ  
バ、外國カラ「オフアー」シタ時ニ「ブ  
ラス」百二十五圓マデ騰ル「プロバヴィ  
リテイ」ヲ持ツト云フコトニナルノデ  
アリマス、之ヲ七十五圓ニ止メテ置ケ  
バ、外國カラ「オフアー」シタ時ニ「ブ  
ラス」七十五圓デ喰止メルコトガ出來  
ル、是ダケノ效果ハ確ニアルト思ヒマ  
ス、其意味ニ於テ此改正ハ徹底的ノモ  
トハ考ヘマセケレドモ、相當有效ナ  
モノト考ヘテ居リマス、ソレナラバ徹  
底的ニ之ヲシタラ宜イデハナイカト云  
フ御議論ガ出ルト思ヒマスガ、ソレヲ  
スレバ先程申シマシタ伊太利ノ特別ノ  
事情ノ爲ニ日本ノ人絹工場ヲ犧牲ニ供  
スル危險ヲ生ズル虞ガアリマスカラ、  
今日ハ此程度デ以テ止メテ置クヨリ仕  
方ガナイト思フノデアリマス、ソレカ  
ラモウ一ツ御尋ノ輸入額ガ非常ニ殖エ  
タデハナイカト云フ御尋ガアッタヤウ  
デゴザイマス、是ハ成程三年、四年、  
五年ト少シジ、殖エテ居リマスガ、併  
シ之ヲ生産額ノ殖方カラ御比較ニナッ  
タナラバ、殆ド言フニ足ラスモノデハ  
ナイカト思フノデアリマス、生産額ノ  
方ハ實ニ恐ルベキ勢ヲ以テ増加シテ居  
ルノデゴザイマス、而シテ其數量カラ  
云ッテモマルデ段違デゴザイマス、輸入  
額ト生産ノ額ト云フモノハマルデ位取  
ガ違ッテ居ル、ホンノ足許デ少シ動イテ  
居ルダケノ話デアリマス、而巳ナラバ  
増加シタ數量ノ中ニハ戻稅ヲ受ケタモ

ノモ相當含ンデ居ルト考ヘテ居リマス  
○永田委員長 一寸御待下サイ、委員  
長カラ一寸申上ゲマス、只今岡田サン  
ニ大變叱ラレマシテ、一昨日モ岡田サ  
ンカラ議事進行ノ議論ヲ戴イテ居リマ  
ス、今ノ櫛部君ノ御發言ヲ止メマシタ  
ノモ、議事進行ニ對スル發言ノ求メガ  
其前ニ在リマシテ、ソレヲ抑ヘテ居リ  
マシタ、サウシテ一方大藏大臣ガ先程  
申上ゲマシタ通り一時ニキツカリ約束  
シテ居ルカラト云フコトモ含ンデ居リ  
マスシ、大藏大臣モ逃ゲテシマフノデ  
ハナシ、必ズ歸ッテ來ラレルト云フコ  
トヲ委員長ハ承知シテ居リマシタカラ、  
ソレデ櫛部君ノ發言ニ應ジマシテ、サ  
ウシテ私ハ岡田サンニアレカラ御相談  
ノ口ヲ開カウト思ッテ居ッタ、決シテ是  
ハ逃ゲ口辯デハアリマセヌ、私ハ此委  
員會ヲ預ッテ居ル間ハ、御覽下ッタ方ハ  
御諒解下サルト思ヒマスガ、岡田サン  
ニ御相談申上ゲヨウト思ッテ居ッタ、ソ  
コデ大變早く御立腹ナスッタモノデス  
カラツイ行違ニナリマシテ甚ダ相濟ミ  
マセヌガ、大藏大臣モ私が當時豫想シ  
タ通り直ニオイデ下サッテ居リマス、餘  
リ委員長ハ駈引ハナイト云フコトハ御  
諒解ガ出來ルト思ヒマス、ドウゾ惡カ  
ラズ

○岡田委員 恐入リマシタ

○村田委員 少シク御尋シテ多ク答ヘ

テ戴イタコトハ質問ノ成功ダト考ヘテ  
居リマス、併ナガラ未ダ要領ヲ得ザル  
コトヲ遺憾ト致シマス、即チ輸入税ヲ  
増加スルガ爲ニ生産業者ヲシテ生産費  
ヲ低廉ナラシムル刺戟ヲ與ヘル、是ハ  
一ツノ目的ダト仰セラレル、ソレガ私  
ハ分ラヌ、即チ發達ノ門出ニアル場合  
ニ於テ之ヲ御試ミニナル其氣持ガ分ラ  
ナイ、ソレカラ關稅ヲ引上ゲテ輸入ヲ  
促スノデアルカ、輸入ヲ阻ムノデアル  
カ、其傾向ヲ一口デ御話ヲ願ヒタイ、  
私ヲシテ言ハシムレバ輸入ノ數額ニハ  
増減ガナイ、増減ノナイモノナラバ其  
點ダケニ於テ既ニ無意味デアル、況ヤ  
我國ノ生産額ニ比較シテ、輸入ノ數量  
ハ年毎ニ若干殖エテ居ルガ論ズルニ足  
ラス、論ズルニ足ラスダケノ輸入ノ總  
額デアルナラバ、何モ慌シク澤山ノ輸  
入品種ノ中カラ、僅ニ二種ダケヲ選ビ  
其中ノ一ツノ人絹、左様ナ貿易上ニ於  
テハ輕イ立場ニアル物ヲ御選ビニナッ  
タ意味ガ分ラナイ、何カ必要ナ意味ガ  
アラザル限りハ、只今ノ御説明ノミデ  
ハ理解ガ出來ナイ、總額モ少イシ、左  
程重要ナ物デナイ、而シテ今後ニ於テ  
モ左シタル増減ガ生ジナイ、ソレヲ特  
ニ選ンデ手ヲ御著ケニナッタ趣旨ガド  
ウシテモ理解ガ出來ナイ、是レ以上ハ  
議論ニナルト思ヒマスガ、私ニハ結局  
理解ガ出來ナイノデアリマスガ、尙ホ

豎子教ヘルニ足ルト御考ヘ下サルナラ  
バ、此上ノ御説明ヲ乞ヒタイノデアリ  
マス  
○井上國務大臣 只今ノ御問ハ私が先  
刻御答シタ行掛リガアリマスカラ申上  
ゲマスガ、關稅ハ引下ゲテモ輸入ハ殖  
エナイ、然ラバ何ニ效果ヲ及ボスカト  
云フコトデアリマスガ、反對ニ御考ヘ  
下スツテ、不必要ニ高イ關稅ナラバ之ヲ  
下ゲルノガ、私ハ本當デアラウト考ヘ  
マス、今日ノ日本ノ人造絹絲ノ生産費  
カラ論ジマシテ、百斤ニ付テ百二十五  
圓ト云フコトヲ御考ヘ下サレバ、如何  
ニモ無駄ナ高イ關稅デアリマス、無駄  
ナ關稅ハ下ゲテモ下ゲヌデモ同ジデハ  
ナイカト云フケレドモ、其無駄ナ關稅  
ノ蔭ニ隱レテ、何ト申シマスカ、人造  
絹絲ノ生産費モ中々安クナラナイノデ  
アリマス、サウ御考ヘ下サルト將來ニ  
於テ下ゲレバ、今年下ゲヌデモ宜イデ  
ハナイカ、斯ウ言ハレルカモ知レヌガ、  
二年三年先ニ保稅工場モナク、關稅モ  
ナク、世界ノドノ強國トモ競争ノ出來  
ルヤウニシヨウト云フ場合ニ、百斤百  
二十五圓ヲ一度ニ半分下ゲルトカ、或  
ハ三分ノ二下ゲルトカ云フ極端ナ下ゲ  
方ヲナサラウトスレバ、此生産費ノ下  
ゲラレナイモノニハ、非常ナ大打撃ト  
ナルノデアリマス、ソコデ今日ハ輸入  
モ殖エナイ、併ナガラ今日ノ如キ場合

デモ、不必要ナ關稅ヲ下ゲテ、從來不  
當ナ恩惠ヲ蒙ッテ居ル其工場ニ對シテ、  
生産費ヲ下ゲヨト云フ將來ノ方針ヲ示  
スコトハ、私ハ即チ日本ノ工業ヲシテ  
世界ノ水準ニ立タセル爲ニ、非常ニ必  
要ナ政策ト考ヘテ居リマス

○岡田委員 先程「ダンピング」ノ問題  
ニ付テ、大藏大臣其他ト應答致シタノ  
デアリマス、今伊太利カラ日本ニ七十  
五圓ノ沖著値段デ來テ居ルト云フコト  
デアリマスガ、主要各國ニ於ケル國內  
相場ハドウカト云ヘバ、大藏省ノ六年  
一月日本人絹聯合會調ニ依ッテ見ルト、  
亞米利加ハ一封度一圓八十錢、英吉利  
ハ一圓七十錢、獨逸ハ一圓二十錢、伊  
太利ハ一圓十五錢、佛蘭西ハ一圓二十  
八錢、日本ガ一圓二十五錢乃至一圓七  
十錢ト斯様ニ御發表ニナッテ居リマス、  
サウ致シマス、伊太利ノ國カラ絲ヲ  
出シ、若クハ之ヲ織物ニシテ出スノニ、  
伊太利ノ商工業者ハ此値段デ以テヤッ  
テ居ル 亞米利加ヘモ亦此値段デヤッ  
テ居ル譯デアリマス、然ルニ獨リ日本ニ  
對シテノミ百斤七十五圓デ賣ラレテ  
居ッテ、他ノ國ニ對シテハソレノ違ッ  
タ値段デ伊太利ハ賣ッテ居ルヤウデア  
ルガ、日本ニ對シテハ先程申スヤウニ  
「ダンピング」ノ値段等モ手傳ッテ七十  
五圓ニナッテ居ル、此七十五圓ヲ本ト  
致シテ論ヲ立テ、之ヲ以テ段々造ッテ外

國ニ出セバ、日本ノ工業ガ發達スルト  
斯ウ言ハレタガ、是ハ私ハ非常ニ根柢  
ニ於テ間違ッタ議論ダト思ヒマス、何故  
ナラバ「ダンピング」ノ品物ヲ持ツト  
云フコト程不安ナコトハナイト思フ、  
日本内地ノ事業ガ安定出來テ、製品ヲ  
安ク生産シ、競争出來ルト云フコトニ  
ナレバ安心出來ルガ、アナタハ「ダン  
ピング」ガ有ルカ無イカ分ラヌト仰シ  
ヤルガ、兎ニ角伊太利ノ内地ノ値段ニ  
比ベレバ非常ニ安イカラ一種ノ「ダン  
ピング」ト言ハナケレバナラヌ、其「ダ  
ンピング」ナルモノヲ頼ッテ段々ヤッテ  
居ル間ニ、若シ其關稅ノ影響ヲ被ッテ  
日本内地ニズン「ダンピング」ガ  
來、更ニ關稅ガ安クナッタニ乗ジテ、一  
方ハ益、原價ヲ下ゲテ「ダンピング」ガ  
來ルコトニナレバ、日本ノ人絹ノ工業  
ハ非常ニ打撃ヲ被ルデヤナイカ、古イ  
舊式ノ機械ナドヲ持ッテ居ルモノガ假  
ニアレバ、其モノハ直ぐ倒レルデヤナ  
イカ、サウシテ日本内地ノ折角完全ニ  
發達シツ、アルモノヲ弱メテマデ、日  
本ノ市場ニ織物ヲ賣ルト云フコトハ、  
是亦間違ッタ考デハナイカト思ヒマス、  
宜シク内地ノ人絹ハモット保護シテ、指  
導サレナラバ指導シテ、政府ノ方デ  
産業ノ合理化ヲスルナラバシテ、ソレ  
ヲ以テ發達ヲ圖ッテ行カレルガ宜イ、何  
モ統計ヲ示サナイデモ常識ニ訴ヘ、商

品ノ狀態ニ訴ヘテ、サウシテ安定サシ  
テ行カナケレバ完全ナコトハ出來ナイ、  
織物ノ關稅ナドヲ下ゲル、頭カラ冷水  
ヲ浴セテ、不安定ニ置クト云フコトハ、  
其心持ダケデモ非常ニ私ハ業界ノ發展  
ヲ阻害スルモノト存ジマス、此點ニ付  
テ多少意見ニ互リマスケレドモ、議論  
ノ要點デアリマスカラ大藏大臣カラ御  
答辯願ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 岡田君ハ伊太利ノ絹  
絲ノ値段ヲ「ダンピング」ト稱セラレ  
マスガ、果シテ「ダンピング」デア  
ルヤ否ヤ、今日ハ斷定ガ付キマセヌガ、  
併ナガラ若シ岡田君ノ言ハレルヤウ  
ニ、伊太利ノ内國相場ガ一圓十五錢デ  
アツテ、日本ハ來テ百封度七十五圓デ賣  
ルサヘ安イノニ、此上相當大キナ値下  
リガ來マシタナラバ、ソレハ議論ナシ  
ニ「ダンピング」デア  
ル、斯ウ云フコ  
トノ確ニ斷定モ付クト思ヒマス、又サ  
ウ考ヘテ置イテ差支ナイノデアリマシ  
テ「ダンピング」ト云フモノヲ、本當  
ニ計畫致シマシタナラバ、日本ノ關稅  
率ノ表ヲ御覽ニナリマス、ドンナ物  
デモ防ギ得ル關稅ノ率ハナイノデアリ  
マス、ソレデアリマスカラ關稅ノ率ヲ  
定メマス時ハ、「ダンピング」ト「ダン  
ピング」デナイモノト二ツニ分ケテ考ヘ  
マシテ「ダンピング」ノ品ハ「ダンピ  
ングロー」ノ箇條ヲ適用スルト斯ウ考

ヘルノデアリマス、併ナガラ今日ノ如  
キ經濟界ノ變動ノアル場合デアリマス  
カラ「ダンピング」以外ノ關稅ノ引下  
ニ於テ、相當ノ手加減ヲシテ、今日ノ  
如キ値下リノ甚シキ場合ニハ、ソレ相  
當ノ用意ヲシテ置クト云フコトハ當然  
ノ事デアリマシテ、此考ヲ以テ此關稅  
ヲ下ゲタノデアリマス、道理カラ仰セ  
ラレ、バ、關稅ヲ下グレバソレダケ日  
本ノ製造工業ガ脅威ヲ感ズルデハナイ  
カト、斯ウ言ハル、ノハ道理デアリマ  
ス、併ナガラ實際ノ場合カラ言ヒマス  
ト、私ハサウ考ヘマセヌ、不當ニ高イ  
此百二十五圓ト云フモノハ、恐ラク今  
カラ人造絹絲ノ値段ガ何倍ト云フ頃  
ニ、從量稅ニ依ッテキメタ稅デアリマ  
ス、其後ニ段々日本ノ人造絹絲ガ下ッ  
テ來テ、何分ノ一ニナリマシタ時ニ、此  
關稅ヲ考ヘマスト、今ノ經濟界ノヤウ  
ナ場合ト云フコトヲ考ヘマセヌケレ  
バ、今少シ下ゲテモ宜イダラウト思ヒ  
マス、私ハ先刻申シマス如ク、不當ナ  
關稅ハ出來ルダケ早く整理ヲシテ行ク  
方ガ宜シイ、不當ナ關稅ノ陰ニ隠レテ  
居ル工業モ澤山アルノデアリマス、ソ  
レヲ必要ガアルカラト云ッテ、一時ニウ  
ント下ゲヨウト思ヒマス、後ニ取殘  
サレタ工業ガ非常ニ困リマスカラ、少  
シツ、下ゲテ行ッテ、理想ニ達スルコト  
ガ私ハ本當ナコトダト考ヘテ居リマス

○岡田委員 不當ノ關稅ト仰セラレ  
ノガ分ラヌノデアリマス、何ガ不當カ  
私ニハ分ラヌノデアリマス、尙ホ數字  
的ニ一寸申上ゲテ見マス、私ハ關稅ヲ  
安クスルト云フコトハ、國內ノ國稅ヲ  
安クスルト同ジ議論ニ御取リニナッテ  
居リマスガ、ソレハ違フト思フ、關稅  
ト云フモノト、國內デ之デ耐ヘ得ルカ  
耐ヘ得ナイカト云フコト、ハ非常ニ違  
フト思ヒマス、關稅ハ即チ外國トノ關  
係ヲ見テ居ルノデアルカラ、何モ擔稅  
力ガアルト云フノト一緒クタニ論ゼラ  
レルコトハ申スマデモナク間違ッテ居  
ル、ソコデ今、日本ハ輸入致シテ居  
マスルモノハドンナモノカト言ヒマス  
ルト、價格ノ高イモノガ輸入サレテ居  
ル、日本デ製造ニ便ナラザルモノガ輸  
入サレテ居ル、此點ヲ考ヘナケレバナ  
ラヌト思ヒマス、若シ此關稅ヲ下ゲマ  
スルト云フト、日本ノ主要產物デア  
ル所ノ、何ト言ヒマスカ日本デ過去ニ多  
ク出來テ居ル生絲、其モノニ向ッテ影響  
ガアルト思ヒマスカラ私ハアナタノ仰  
セノ如ク影響ガ少ナイトハ思ヒマセ  
ヌ、丁度アナタノ御説ノ通り計算ヲシ  
テ見タノデアリマスガ、伊太利ノ絲ハ  
沖著デ以テ七十五圓ト云フモノヲ元ト  
スルト、ソレニ對シテ輸入稅九十三圓  
七十五錢掛ッテ居ッタ、今度ハソレヲ換  
算スルト五十六圓二十五錢ニナルヤウ

デアリマスガ、五十六圓二十六錢ニナリマス、輸入税ヲ入レルト百三十一圓二十五錢ニナリマス、日本ノ内地產ト云フモノガ百二十圓、或ハ百二十五圓、二十圓ト云フ安イモノヲ取リマシガ、其值開キト云フモノハ、僅ニ十一圓二十五錢シカナイ、斯ウ云フモノニ對シテ關稅ノ保護ハ、僅ニ百封度ニ付テ十一圓シカナイ、斯ウ云フ曝シ物ニシテシマツタ、斯ウ云フヤウニ日本ノ主要工業ヲ致シテ置イテ、「ダンピング」ノ時ニナレバ「ダンピング」ヲヤルト云フコトハ、日本ノ主要工業ニ對シテ無責任ト思フ、商工大臣ト雖モ無責任デアル、モット是ハ深刻ニ考ヘナケレバナラヌカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○井上國務大臣 此百斤百二十五圓ノ關稅ヲキメタ時ノ輸入ノ人造絹絲ハ四百六十三圓七十六錢ト云フ平均價格ヲ取リマシテ、ソレノ二割一分ト云フモノヲ百二十五圓ト見テ、從量稅デキメタノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク今日ノ人造絹絲ノ相場ハ幾ラカト云フト、高クテ百三十圓、斯ウ云フ場合デアリマス、前ニ百斤百二十五圓ト云フモノヲキメマシタ時ハ四百六十三圓七十六錢ト云フ時ノ値段デキメタノデアリマス、ソレデアリマススカ其後ノ人造絹絲ノ發達カラ言ヒマシタナラバ、

是ハ相當高イモノデアル、斯ウ御考下サツテ宜カラウト思フテ居リマス、只今伊太利ノ人造絹絲ノ日本ノ百斤ノ値段ヲ御計算デシタガ、一寸茲ニ政府委員ニ計算サセマシタモノヲ申上ゲマスト、百斤ノ値段ガ假ニ伊太利ノ値段ヲ、アナタノ言ハレル七十五圓トシテ、ソレニ四圓ノ陸揚賃銀ヲ加ヘテ七十九圓トシタ、日本ノ港先ニ著イタ時ノ陸揚料ヲ四圓五十錢ト吾々ハ見テ居リマシガ、ソレヲ四圓ト見テ七十九圓、ソレヲ百斤ニ直シマス爲ニ百三十二圓掛ケル、サウスルト云フト、其裸相場ガ百四圓ニナリマス、ソレニ七十五圓ト云フ今度下ゲタ關稅ヲ課ケルト、百斤ノ伊太利ノ人造絹絲ノ値段ハ百七十九圓、今日日本内地ノ人造絹絲ヲ賣ッテ居ルモノガ大概百二十五圓カラ百三十圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○岡田委員 ソレデハ私ノ方ニハ祕書官ガ居リマセスカラ、私ノ方ノ計算通リニ、百封度ヲ元ニシテ七十五圓ニ致シマシテ、關稅ヲ五十六圓二十五錢掛ルモノト致シマシテ、アナタノ御話ノヤウナコトヲシマスト、百封度ガ七十五圓トシテ、ソレニ對スル關稅ガ何ボ位ニナリマスカ、私ノ計算デハ五十六圓二十五錢ニナリマス、ソレニ只今ノ運賃ヲ御入レニナルデアリマセウカラ、ソレヲ加ヘルトドウナリマスカ

○井上國務大臣 岡田サンニ御答致シマス、封度ニシマスト原價ガ七十五圓、ソレニ諸掛、所謂陸揚料ヲ四圓五十錢ト見、百封度ノ税金ヲ五十六圓七十錢ト見マスト、百三十六圓二十錢、サウナリマス

○岡田委員 分リマシタ、百三十六圓二十錢ト致シマシテ、ソレニ相當スル内地ノ絲ノ値段ハドノ位ニナリマスカ

○井上國務大臣 百封度大概百二十五圓、サウ見テ宜シイト思フテ居リマス

○岡田委員 百封度ソレ位デアリマセウ、サウシマスト、七十五圓ニ、諸掛ヲ四圓五十錢ヲ御入レニナリ、ソレニ關稅ヲ御入レニナツテ百三十六圓二十錢、内地ノ値段ハ百二十五圓ト致シマスト、其值開キハ十一圓二十錢、十一圓二十錢ダケハ關稅ノ保護ヲ受ケテ居ルト云フコトニナル、僅カ十一圓二十錢位ノ值開キデ以テ、關稅ノ保護ヲ與ヘルト云フコトハ、私ハ先程カラ申スヤウニ、市場ノ狀勢ヲ突然ニ危險ニ曝スモノデアル、斯様ニ私ハ斷定スルモノデアリマス、私ガ遺憾ニ思フノハ、此值開キ等ニ對シテ餘リ御研究ニナツテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是デハ非常ニ不安デアリマセスカ、商工省トシテハ、斯ウ云フコトヲ置イテハ不安デアリマセスカ、モウ少シ深刻ナル御調ヲナサツタ上デ御提案ニナルベ

○岡田委員 幾ラ増シタカ、ドレダケノモノヲ用ヒタカ——簡單ニ申上ゲマスガ、五年度ノ木材關稅ノ變化ニ依ツテ、ドレダケノ收入増ニナツタト云フ見込ニナツテ居ルカ、アノ當初ノ見込ヲ私ハ忘レタシマス、ソレニ對シテ施行豫算並ニ實行豫算ニ於ケル所ノ、ソレニ該當シテ居ル所ノ歲出額ヲ聽キタイ

キモノデハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ念ノ爲ニ一寸最後ニ承ツテ置キタイノデアリマスガ、木材ノ關稅ヲ御引上ニナツタ、此前ノ政友會内閣ノ時ニ、木材ノ關稅ヲ上ゲマシタ、其時ノ目標ト云フモノハ、之ヲ以テ、林道ヲ造リ或ハ其他ノ施設ヲ致シテ、民間ノ林業ト云フモノノ發達ニ主トシテ用キルト云フコトノ豫算ニナツテ居ッタノデアリマスガ、其後如何様ニ之ヲ御用ヒニナツテ居リマスカ、又今回ノ五十萬圓ノ木材關稅ニ付テノ利用ハ、ドウナツテ居リマスカ、ソレヲ簡明ニ御答願ツテ置キタイノデアリマス

○平熊政府委員 林道ヤ其他ノ關係ニ付キマシテハ、アノ當時ノ計畫ニ順應シテ、ヤハリ同ジ計畫ヲ以テ終局ニ向ツテ進ミツ、アルノデアリマス、唯、金額ガ初メノ計畫ヨリ幾ラカ……(岡田委員「金額ヲ正確ニ御話下サイ」ト呼フ)細カイ數字ハ今手許ニアリマセヌガ……

○岡田委員 幾ラ増シタカ、ドレダケノモノヲ用ヒタカ——簡單ニ申上ゲマスガ、五年度ノ木材關稅ノ變化ニ依ツテ、ドレダケノ收入増ニナツタト云フ見込ニナツテ居ルカ、アノ當初ノ見込ヲ私ハ忘レタシマス、ソレニ對シテ施行豫算並ニ實行豫算ニ於ケル所ノ、ソレニ該當シテ居ル所ノ歲出額ヲ聽キタイ

該當シテ居ル所ノ歲出額ヲ聽キタイ

ノデアリマス、尙ホ更ニ今回ノ五十萬  
圓ニ付テモ、之ヲ如何ニ用ヒラレルカ  
ト云フ、其目標ガアレバ、ソレヲ聽キ  
タイノデアリマス

○平熊政府委員 今度ノ關稅ノ增收ニ  
付キマシテハ、先刻青木政府委員ガ御  
答ヘシタ通り、木材關稅ノ增收ニ依ッテ  
得タ所ノ金ヲ直チニ森林政策ノ方ニ使  
フト云フコトハ昔カラシテ居ナカッタ  
ノデアリマス、今度モ亦サウ云フ意味  
デアリマスカラ、特ニ其增收ヲ以テ森  
林ノ方ニ當テルト云フ計畫ハシナカッ  
タノデアリマス

○岡田委員 ソレハ何カ他ニ充當セラ  
レル御見込ガアルノデアリマス、無  
論歳出ノ事デアリマスカラ、ドレト區  
別ハナイデアラウト思ヒマスガ、併ナ  
ガラ政府ノ胸算用ニ於テ、此五十萬圓  
ヲ、何カ特ニ用キルトコトノ目標ハアリ  
マセヌカ

○平熊政府委員 ソレハ森林ノ方ニハ  
用キルト云フ胸算用ヲ有ッテ居リマセ  
ヌ

○井上國務大臣 岡田君ニ御答致シマ  
スガ、此關稅ヲ上ゲマスコトハ、上ゲ  
ルト(岡田委員「ソレハ判ッテ居リマス  
實際ヲ話シテ下サイ」ト呼フ)其處ニ  
保稅シタケノ事デアリマシテ、ソレ  
ヲ何カ用ヒヤウトカ、ドウトカシヨウ  
ト云フ考ハアリマセヌ、普通ノ財源デ  
ス

アリマスカラ(板谷委員「本當ノ事ヲ  
仰シヤイ」ト呼フ)ソレハ先刻此處デ  
御答シタト思ヒマス、目ノ子算用シテ  
行ケバ、丁度斯ウナリマス、千何十萬  
圓ト云フ歳入増加ガアリマシタガ、其  
金ヲ使ッテ居リマスノデアリマスカラ、  
今度ノ救護費其他ニ使フ金ニ、若シ目  
ノ子算用デ行ケバ振リ向ケラレルコト  
ニナリマス、併シソレガ一般財源ニ入ッ  
テカラ、ドレガ何處ニ使ハレタト云フ  
コトハ判リマセヌ

○岡田委員 其他ノ事ハ後デ御答辯ヲ  
戴クコトニ致シマシテ、私ハ一應是デ  
中止致シマス

○村田委員 私ハ若モ人絹ノ減稅ガ行  
ハレマシタ場合ニハ、若干ノ輸入増加  
ヲ來シ、隨ッテ關稅ガ豫算ヨリモ増ス  
モノダト思ヒマス、當局ノ三十二萬圓  
減ルト云フ數字ハ、意外ニ殖エルト云  
フ結果ヲ生ズルモノデアアルト素人考  
デ申スノデアリマス、故ニ是ハ單純ニ  
當局ノ説明デハ満足出來ナイ、是ハ必  
ズ實行ノ上ニ於テハ、増加ノ方ニ有利  
ナ結果ヲ生ズルト云フコトヲ素人論ト  
シテ茲ニ述ベテ置キマス

○井上國務大臣 只今ノハ御質問デハ  
ナイ御意見ノヤウデアリマスガ、チヨ  
ト訂正シテ置キマス、日本ノ人造絹絲  
ガ今日入リマスモノガ一方カラ言ヒマ  
スト、保稅工場ニ入ルモノハ關稅表ニ

載リマセヌ、大體載ルモノハ戻稅デ以  
テ、輸出ノ織物ニ使用スルモノデアリ  
マス、ソレカラ以外ニ内地用トシテ入  
ルモノハ、日本ニ出來マセヌ、特種ノ  
人造絹絲デアリマスカラ、吾々ハ左様  
ニ殖エルト考ヘテ居リマセヌ、御意見  
デアリマシテ、別ニ御質問デアアリマ  
セヌデシタ……

○加藤委員 私ノ御伺スルノハ簡單デ  
アリマス、御承知ノ如クニ、我國ハ世  
界ニ於テ獨特ノ地歩ヲ占メテ居ル天然  
絹絲ノ生産地デアリマスガ、隨テ此人  
造絹絲ノ發達ト云フモノガ、天然絹絲  
ニ影響ヲ與ヘルノデアラウト云フコト  
ハ、當業者ノ共ニ之ヲ豫想致シマシテ、  
深ク心配ヲ致シテ居ルコトデアリマ  
ス、此點ニ付テ大藏大臣ハドウ云フ御  
考ヲ御持チデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○井上國務大臣 私生絲ノコトニ付  
テ、素人デアリマスガ、多少生絲ノ金  
融爲替等ノコトヲ取扱ッテ經驗ガアリ  
マス、先年外國ノ玄人數人ニ對シテ、  
私ハ意見ヲ徵シタコトガアリマス、其  
意見ノ纏ッテ結論ヲ申シマスルト、人  
造絹絲ノ増加ハ、天然絹絲モ共ニ需用ガ  
擴ガル、斯ウ云フコトデアアル、但シ過  
去ノ經驗デ言フト、天然絹絲ノ非常ニ  
高カッタ、時ノ人造絹絲ト云フモノハ非  
常ニ生産量ガ殖エル、サウ云フコトヲ  
見ルト、殊ニ其實績ト致シマシテハ、

大正六七八年ノ日本ノ生絲ガ一俵四千  
圓致シマシタ時、亞米利加ノ人造絹  
絲ノ生産量ガ一番殖エテ居ルコトヲ證  
據ニ擧ゲテ、サウ申シテ居リマシタガ、  
天然絹絲ガ高クナレバ需用ハ減ル、併  
ナガラ安クシテ賣ルコトガ出來レバ、  
急激ナ増加ハ期待出來ヌガ、減ルモノ  
デハナイ、斯ウ云フコトヲ何人デシタ  
カ、相當ニ金ヲ拂ッテ意見ヲ徵シタコト  
ガアリマスガ、左様ナコトヲ數年前ニ  
申シテ居リマシテ、其後ノ成績カラ見  
マスルト、ヤハリ左様ニ吾々ハ今日デモ  
考ヘテ居リマス、隨テ天然絹絲ガ高ク  
ナレバ數量ハ減ル、ソコデ先年ノヤウ  
ニ天然絹絲ノ高クナルコトハ期待出來  
ナイノダ、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘテ  
居ルノデアリマス、隨テ成タケ日本ニ  
於テ天然絹絲ノ生産費ヲ下ゲテ、良イ  
品物ヲ拵ヘテ、外國ニ賣ラナケレバナ  
ラスト、斯ウ云フコトヲ常ニ考ヘテ居  
ルノデアリマス、然ラバ目前ノ日本ニ  
於テドウカト云フト、是ハ非常ニ私數  
字ヲ得タイノデアリマスガ、數字ハ得  
ラレマセヌガ、昨年ノ日本ノ織物ニ人  
造絹絲ヲ用キマシタ數量ハ餘程夥シイ  
モノデアラウト思フ、今日人造絹絲ガ  
日本ノ織物ニ織交ゼラレテ、サウシテ  
値段ガ安イ、一寸見タ所デ、見バ宜  
クテ、サウシテ絹ノヤウニ見エル爲ニ、  
非常ニ需用ガ殖エテ居ル、斯ウ考ヘマ

スルト、昨年、一昨年度ニ於テ、横濱ニ二十萬捆溜ッタノモ、或ハ内地使用量ガ減ッタ、即チ人造絹絲ガ殖エタカラ、天然絹絲ガ減ッタト云フコトモ確ニ一ノ原因デアラウト考ヘテ居リマス、隨テ日本内地ニ於テ消費致シマス人造絹絲ハ今後殖エテ、天然絹絲需用ノ範圍ヲ侵蝕スルト云フコトガ當分アリハセスカト考ヘテ居リマス、併シ人造絹絲ガ「モスリン」ノ範圍ヲ侵シテ行ッテ、今日「モスリン」ノ需用ガ非常ニ減ッタモノト見ルト、必シモ生絲ノ範圍ダケデナイカモ知レマセスガ、此數字ノ根據ガアリマセスケレドモ、サウ云フ風ニ自分ハ考ヘテ居リマス

○加藤委員 只今伺ヒマスト、數年前ニ外國人ノ御意見ヲ徵サレタヤウニ伺ヒマス、内地ニ付テ意見ヲ御徵シニナッタコトガゴザイマスカ

○井上國務大臣 私ハ直接話ハ度々聞キマスガ、外國人ノ意見ヲ徵シテ、徹底的ノ調査書ヲ取りマシタコトハアリマセス、但シ官邊其他生絲ニ非常ニ詳シイ人ニ、其道ノ話ハ聞イタコトガゴザイマス

○加藤委員 只今ノ御説明ヲ伺ッテ見マスト云フト、天然絹絲ハ、人造絹絲ノ價格ノ影響ヲ受ケルモノト大藏大臣ハ御認ノヤウデアリマス、隨テ昨年横濱市場ニ於ケル——横濱並ニ神戸市場

ニ於ケル二十萬捆ノ生絲ノ滯貨ガ出來ク、其内十萬捆ト云フモノハ、即チ人造絹絲ノ影響ヲ受ケタモノト認メル、斯様ナ仰セデゴザイマス、是ハ枝葉ニナリマスケレドモ、序デアリマスカラ御尋ヲ致シテ置キタイ、曾テアナタハ世界ノ不況ト、之ニ對スル國民ノ覺悟ト云フ題デ著書ヲ御出シニナリマシタ、私共モ一部頂戴致シマシタコトニ付テ、此席上ヨリ御禮ヲ申上ゲテ置キマス、其著書ノ中ニ二十萬捆ノ滯貨ノ出來タノハ、十萬捆ハ只今仰セノヤウニ、即チ内地ノ生産過多デアル、ソレカラ他ノ十萬捆ハ是ハ米國ノ不況ノ爲メデアルト、斯様ニ仰セラレルノデア

ルガ、其内地ノ生産過多ト云フコトハ人造絹絲ノ影響カラ來タ生産過多デアルト申サル、ノデアアルカ、或ハ他ノ原因カラ來タノデアルト云ハル、ノデア

ルカ、之ヲ伺ヒタイ、尙ホ二十萬捆ノ滯荷生絲中十萬捆ハ内地ノ生産過多デアリシ、他ノ十萬捆ハ亞米利加ノ不況ノ爲メデアルト云フコトノ御斷定ハ、一體何處カラ出タモノデアアルカ、何處ヲ根據ニシテ左様ナコトヲ仰シヤルノデアアルカ、餘計ナ御説明ハ伺ハンデモ

宜イ、委員長モ急イデ居ラル、ヤウデアルカラ成ルベク簡明直截ニ御答辯ヲ戴キタイ

○井上國務大臣 茲ニ私ハ材料ヲ持ッテ居リマセスガ、丁度昨年——一昨年度アリマスガ、昭和四年度ノ生絲ノ生産量ハ、十捆程内地デ餘計生産シテ居リマス、ソレカラ亞米利加ニ輸出サレタ量ガ、其前年ニ比較致シマスト十萬捆減ッテ居リマス、ソレヲ私ハ指シテ申シタノデアリマス、キツリソレガ十萬捆デアリマシタカ、十萬何千捆デアリマシタカ、大凡ノ數字デサウ吾々ハ計算シテ居リマス

○加藤委員 實ハ其十萬捆ハ亞米利加ノ需要ノ減ッタ結果デアアル、又他ノ十萬捆ハ内地ノ生産過多デアルト仰シヤッタ根據ヲ御尋致シタイト思ヒマシタガ、只今ノ御答デハ、私ハソレヲ尤モナリトシテ肯定スルコトハ出來マセス、併ナガラ本日ハ關稅委員會ノ席デアアルカラ其點ハ追究致シマセス、併ナガラ内地ノ生産過多ト云フコトガ、今アナタノ御説明カラ云フト、人造絹絲モ影響シテ居ルト云フコトデアリマスガ、其點ヲ今少シク數字の的確ナル御所見ヲ伺ヒタイ

○井上國務大臣 只今此處デ貿易ノ表ヲ見マスト、ヤハリ前年度ニ比較シテ十萬四千捆ハ輸出量ガ減ッテ居リマス、生産量モ確カソレ位ノモノガ殖エテ居ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今ノ問題デ二十萬捆ノ議論ヲ致シマシタ時、所謂生産量、消費量ノ御尋ニ付キマシテ

ハ、先刻申シマスル如ク數字ニ根據ガアル譯デアアリマセスケレドモ、私ハ確ニ人造絹絲ヲ用ユル爲ニ多少ヅ、天然絹絲ハ其範圍ヲ侵サレヤセスカト慮レテ居リマス、此問題ハ昭和四年度デアリマスケレドモ、昭和五年度ノコトヲ考ヘテ見ルト、確ニ人造絹絲ノ織物ハ外國行ダケデハナイ、内地需要ノ織物ニモ可ナリ使ハレテ居リマス、アレヲ考ヘマスト、外國ノヤウニ天然絹絲ト共ニ殖エルカ、或ハ人造絹絲ガ天然絹絲ノ範圍ヲ侵スカト云フト、是ハ兩方アリマセウ、アリマセウガ、人造絹絲ガ天然絹絲ノ範圍ヲ確ニ私ハ消費ノ上カラ言ヘバ侵スモノト虞レテ居リマス

○加藤委員 只今大臣ハ的確ナ數字ハ持ッテ居ラスカラト云フコトデアリマスガ、アナタノ屬僚ノ方ハ、多分御調ニナッテ居ルト、思フ、ドウゾ大藏省ノ政府委員ノ方カラ、只今ノ大臣ノ御説明ヲ數字のデ承リタイノデアリマス、尙ホ具體的ニ申セバ、十萬捆ノ生絲ガ内地ノ生産過多ノ結果デアリ、其中ノ幾分ハ人造絹絲ノ影響デアラウト申サレ、而シテソレハ輸出ノ上ニモ影響シテ居ルデアラウガ、内地ノ織物ノ上ニモ影響シテ居ルデアラウト言ハレルノデアアルガ、是デハ唯大臣ノ想像ノヤウニ思ハレルノデアアル、併シ是ニハ

定メシ的確ナル數字ノ調査ガ出來テ居  
ラネバナラスト思フ、又織物稅ノ關係  
カラ言フテモ、其調査ガ出來テ居ルニ  
違ヒナイ、例ヘバ是レノ絹織物產  
地デハ、昭和元年ニ天然絹絲ヲドノ位  
用ヒテ居ッタノガ昭和五年ニハドノ位  
用ヒルヤウニナッタカ、人造絹絲ガ昭  
和元年ニハドノ位用ヒラレテ居ッタノ  
ガ、五年ニハドノ位用ヒラル、ヤウニ  
ナッタカ云フ調査ハ必ズアルニ相違  
ナイト思フノデアリマス、此事ハ私ノ  
質問ノ前提トシテ必要ナ數字デアリマ  
スカラ一ツ伺ヒタイ

○井上國務大臣 只今手許ニ生産量ハ  
持ッテ居ラナイヤウデアリマスガ、私ノ  
申スコト、加藤サノノ御尋ニナルコ  
トハ違ヒマスカラ正シテ置キタイト思  
ヒマス、私ハ日本ノ天然絹絲ノ生産量  
ガ、昭和四年ハ昭和三年ヨリ九萬何千  
梱殖エテ居ッタ、ソレカラ一方ニハ輸  
出量ガ十萬四千梱減ッテ居ッタ、合計シ  
テ丁度二十萬梱停滯スル、斯ウ議論シ  
タノデアリマスガ、加藤君ノ御尋ハ生  
産ハソレデ宜シイガ、消費ハ天然絹絲  
ト人造絹絲ガドウ云フ風ニナッテ居ル  
カ、斯ウ云フコトデアリマスガ、其事  
柄ハ、横濱ニ停滯シタ二十萬梱ノ説明  
トハ別ニナリマス

○加藤委員 私ハ其生産量ノミニ付テ  
モ、アナタノ意見ト違ヒマスガ、ソレ

ヲ議論シテ居リマスト長時間ヲ要シマ  
スカラ今ハ御尋致シマセヌ、アナタハ  
昨年二十萬梱ノ内地ノ生絲ガ餘ッタガ、  
其中十萬梱ハ亞米利加ノ不況ノ結果デ  
アッテ、十萬梱ハ内地ノ生産過多ノ關係  
デアルト仰シヤル、是ハ洵ニ思切ッタ斷  
定デアッテ、私共ハ徹頭徹尾承服スルコ  
トガ出來ナイ、併シ之ハ前ニモ申シマ  
シタヤウニ、此事全體ニ付テノ質問ハ  
今ハ致シマセヌガ、唯私ノ御尋シナケ  
レバナラストハ、詰リ内地ノ生産過  
多ト申サル十萬梱中ノ幾分ト云フモ  
ノガ、人造絹絲ノ關係デアルト仰シヤ  
ル、而シテ其人造絹絲ガ輸出織物ニモ  
亦内地向ノ織物ニモ使用サル、ト云フ  
處カラ、斯ク申サル、以上ハ、必ズヤ  
數字ノ御調ベガナケレバナラスト思  
フ、之ハ又租稅ノ關係カラ申シテモ、  
調査セラレテ居ラナケレバナラスト  
ソレヲ私ハ伺ヒタイト思ヒマシタケレ  
ドモ、只今其調査ガナケレバ宜シクア  
リマス、ソコデ改メテ大藏大臣ニ御尋  
致シタイノハ、既ニ輸出絹織物ニモ、  
内地ノ織物ニモ人造絹絲ガ天然絹絲ニ  
影響ヲ與ヘテ居ルト仰シヤルガ、ソレ  
ハ詰リ價格ノ上カラ來テタルト御認メ  
デアルカ或ハ他ノ原因カラ來タモノト  
御認メデアリマスカ

○井上國務大臣 一寸御尋ヲ致シマス  
ガ、價格ノ上カラト云フノハ、人造絹  
絲ガ安イカラ、内地ノ人造絹絲ノ需要  
ガ殖エルト云フ意味カトノ御尋デアリ  
マスカ

○加藤委員 今仰シヤル通りデアリマ  
ス、詰リ人造絹絲ノ値ガ安イ、随ッテ人  
造絹絲ガ餘計ニ用ヒラレテ、天然絹絲  
ガ其販路ヲ奪ハレル、即チ天然絹絲ニ  
影響スル、斯様ニ御認メニナッテノ御  
説明デアルカラ御尋スルノデアリマス

○井上國務大臣 其通リト考ヘマス  
○加藤委員 天然絹絲ハ申スマデモナ  
ク人造絹絲ト價格ノ上ニ於テ競争シナ  
ケレバナラストニナリマス、ソコデ  
今日ニ於ケル我國蠶絲業ノ實際ノ狀況  
カラ申シマス、其收支ハ到底引合ハ  
ナイコトニナッテ居ル、例ヘバ一昨年ハ  
繭一貫目ノ生産費ガ六圓九十九錢掛  
カッタ、昨年ハ不景氣ノ影響ヲ受ケマシ  
テ生産費ガ安クナッタガ、ソレデモ四圓  
五十五錢カラ掛ッテ居ル、然ルニ繭ノ値  
ハ御承知ノ通り昨年ハ春蠶繭ガ最高デ  
四圓四十五錢、夏蠶、秋蠶ニ至リマシ  
テハ僅ニ二圓又ハ一圓、中ニハ五十錢  
ト云フヤウナ譯デアリマシテ、迪モ生  
産費ニ較ベテ引合ハナイコトニナッテ  
居ル、又生絲ノ生産費モ、一昨年ハ一  
千二百圓カラ三百圓掛リ昨年ニナリマ  
シテモ、春蠶ノ繭ヲ以テ計算スレバ千  
圓カラ掛ッテ居ルノニ、昨年ノ絲價ハ僅  
ニ七百圓、甚シキハ五百四十圓マデ下

落シタカラ、迪モ内地ノ蠶絲業ト云フ  
モノハ引合ハナイ、デアリマスカラシ  
テ、養蠶スル者ノ窮況ハ非常ナルモノ  
ニ陥ッテ居ルノデアリマス、若シ此狀  
態ガ永ク繼續シテ行キマスナラバ、日  
本ノ蠶絲業ハ倒レテシマハネバナラナ  
イ狀態ニナッテ居リマス、ソコヘ持ッテ  
來テ人造絹絲ノ關稅ヲ更ニ引キ下ゲテ  
安イモノヲ輸入セシムルコトニナレバ、  
益、以テ天然絹絲ハ之ニ壓倒サレナケレ  
バナラストニナルト思フノデアアル  
ガ、此點ニ付テ大臣ハドウ御考ニナル  
カ

○井上國務大臣 アナタノヤウニ一面  
ノミヲ御覽ニナルト、其通リニ誰モ考  
ヘマス、併ナガラ先刻カラ申シマス如  
ク、人造絹絲ノ大部分ハ織物ニ拵ヘテ  
外國ニ輸出シテシマヒマス、隨テ人造  
絹絲ガ高ケレバ、外國ノ輸出ハ減リマ  
ス、ソレデ成タケ人造絹絲ハ今日ハ安  
クシテ外國輸出ヲセンケレバナラスト、  
サウナルノハ當然デアリマス、ソレナ  
ラバ今關稅ヲ茲ニ引下ゲマシテモ、日  
本内地ノ人造絹絲ノ相場ヨリモ、伊太  
利カラ來ル非常ニ安イト云フ價格ニ對  
シマシテモ、下ゲタ關稅ヲ取リマシテ  
モ、先刻茲ニ申シマス如ク、百封度百  
三十六圓ト云フコトニナリマス、内  
地ノ人造絹絲ヲ内地デ賣ッテ居ルヨリ

モ高ウゴザイマス、デアリマスカラ加藤君ノ仰シヤラレルコトハ、今日ノ實際ノ事情ニハ當倏ラナイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 實際ニ當倏ラストハ、ドウ云フ點カラ仰シヤルカ知リマセヌガ、成程一面ノミヲ見テハイケナイ、更ニ他ノ半面モ見ナケレバナラヌコトハ言フマデモアリマセヌ、今關稅ヲ引下ゲタカラトテ、直ニドレダケ日本ノ蠶絲業ニ影響スルカ、人造絹絲ノ大部分ハ織物ニシテ外國ニ輸出スルノデア

ルカラ、關稅ヲ引下ゲテモ、日本ノ蠶絲業ニハ影響セヌカノヤウニ仰シヤルヤウデアリマスガ、ソレハ先刻アナタモ御認メノ通り、内地織物ガドン／＼絹絲ヲ使ッテ居ルコトハ明カナ事實デアリマス、此方ノ専門家デ居ラル、所ノ飯塚君モ此處ニ居ラレマスガ、私ガ二三ノ絹織物產地デ調べタ所ニ依リマスト、最近十年間ニ於キマシテハ、人造絹絲ノ使用高ハ、今カラ十年前比較シ、殆ド十倍以上ニナッテ居リマス、即チ從來内地ノ生絲ヲ消費シタ者ガソレヲ止メテ、人造絹絲ヲドン／＼使ッテ居ル、是ハ即チ値ガ安イカラ使フノデアッテ、ソレダケ内地ノ生絲ガ賣レナイコトニナルノデアリマス、ソレハ私ガ説明スルマデモナク御承知ノコトデ、我邦ノ生絲ノ八割ハ外國ヘ出テ居ル、殘

リノ二割ガ即チ内地用トシテ消費セラレルノデアリマス、所デ此二割ガ、今ヤ人造絹絲ノ爲ニ影響ヲ受ケ現ニ私ノ調べタ絹織物產地デハ、殆ド今日デハ生絲ノ半分位ハ人絹ノ爲ニ驅逐サレテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、是ガ影響ガナイトハ決シテ言ハレマスマ

イ、之ハ固ヨリ値ノ上ノ競争カラ來テ居ル、所ヘ持ッテ來テ、更ニ關稅ヲ引下ゲテ、其安イ人絹ヲ入レルト云フコトニナレバ、尙ホ一層内地用ノ生絲ガ影響ヲ受ケナケレバナラヌコトハ明カナ事實デアアル、之ヲ實際ニ當倏ラヌ議論ト仰シヤルノハ、甚ダ怪シカラヌコトデアアル、私ハ實際カラ割出シテ申上ゲテ居ルノデアアル、今日橫濱市場ノ絲價ノ上ラヌト云フコトハ、色々ノ原因ノアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、併シ其原因ノ一ツヲ申シマスレバ、内地ノ地遣絲ガ以前ノヤウニ消費セラレナイト云フコトモ非常ナ影響ノアルコトヲ忘レテハナリマセヌ、例ヘバ橫濱ニ於テベケニナッテ地遣絲トナッテ地方ヘ廻ハサレル、ソレガ内地ノ消費ガ盛ンデアレバ、橫濱デ賣レナイモノモ地遣用トナッテ相當ノ價格ヲ維持スル關係ニ依リマシテ、濱ノ生絲相場モヤハリ之ニ連ラレテ相當ニ維持スルコトガ出

ザルヲ得ナイコトハ、何人モ能ク知ッテ居ルコトデアリマス

〔委員長退席、樺部理事著席〕

サウ云フ所ヘ、更ニ人造絹絲ノ輸入稅ヲ百封度ニ對シテ五十圓モ引下ゲテ、モット安イモノヲ使ハセヤウトスルコトハ、勢ヒ内地用ノ生絲ニ非常ナ脅威壓迫ヲ與ヘルコトニナルト云フコトハ明カナ事實デアアル、是ハ決シテ机上ノ空論デハアリマセヌ、萬事アナタハ御承知ニナッテ居ッテ、所謂アナタノ仰シヤル一面ダケヲ見テ左様ナ大膽ナコトヲナサルト云フコトハ、我邦ノ蠶絲業ハドウデモ宜イト云フコトデナケレバ出來ナイコトト思ヒマス、此點ニ付テ大藏大臣ハドウ御考ヘデアリマスカ

○井上國務大臣

加藤サンノ言ハレルコトニ對シテ、敢テ私ハ反對ハ致シマセヌケレドモ、是ハ人造絹絲ノ生産費ガ段々下リマシテ、只今ノ人造絹絲百斤ニ付テ百二十五圓ノ關稅ヲキメタ時

ハ、百斤四百何十圓致シテ居ッタガ、今日ハ段々下ッテ來テ百二十五圓位ノ内地ノ相場ニナッテ居リマス、伊太利ノ絲ヲ今度下ゲタ關稅カラ申シマス、百封度百三十六圓デアリマシテ、既ニ今日關稅ヲ下ゲタ絲ノ値段デ入レルヨリ以上ニ、日本ノ人造絹絲ノ値段ガ安イノデアリマス、サウ云フコトデアリマスカラ、只今加藤サンノ言ハレルヤウナコトハ天然絹絲ヲ日本ダケデ需用ヲ殖ヤスヤウニ高クシヨウ、即チ之ヲ維持シテ行カウト言ッテ、人造絹絲ノ値段ヲ高ク致シマシテモ、外國トノ輸出ノ關係デ到底永久ニ其政策ハ維持出來ヌト私ハ考ヘテ居リマス、アナタノ言ハレルノハ天然絹絲ガ非常ニ此頃安イカラ、十ノ中ノ二シカ内地デ使ハナイ天然絹絲ガ非常ニ需用ガ減ッタカラ、ソコ人造絹絲ノ値段ヲ高ク持ッテ行ク、成程サウ致シマシタナラバ、多少ノ天然絹絲ノ需用ノ減ルノヲ防ギ得マス、併ナガラ人造絹絲ノコトヲ考ヘテ見マスト、是ハ既ニ眼ノ前ニアル事實ガ百二十五圓デ賣リマスガ、其中ニハ相當ノ儲ケヲ入レテ居ルノデアリマス、サウシテ先刻委員ノ中カラ御尋ノアリマシタ如ク、殆ド日ニ改良進歩シテ、生産費ハ非常ニ下リツ、アルノデアリマス、ソレデアリマスカラ加藤君ノ言ハレルヤウナコトガ正シイトシテモ、私ハ是ハ餘程ムツカシイ政策デ、困難ナコトデアリマス、殆ド不可能ト言ッテモ宜カラウ、又非常ナ弊害モ來シマス、ナゼカナラ關稅ニ拘ラズ、日本内地デ拵ヘル人造絹絲ガ既ニ安イノデスカ

ラ、生産費ト云フモノハ世界ノ脅威ヲ感ズルカラ、人造絹絲製造業者ハ日ニ改善シテ安クシツ、アリマス、大イニ安クナルベキ確信ガアルノデアリマス、私ハ加藤サンノ言ハレルコトニハ少シモ反對ハシナイガ、全體ノ政策カラ言フト、ソレハ私ハ一寸出來ナイト思フ、效果ガ擧ラズト斯ウ考ヘテ居リマス

○加藤委員 私ハ、天然絹絲ノ價額ト云フモノガ單ニ人造絹絲ノミノ影響デアルトハ思ヘマセス、ソレニハ色々關係ガアリマス、其事ハ能ク承知シテ居リマス、併ナガラ今日内地用ノ生絲ト云フモノハ言フ迄モナク坐繰生絲ガ非常ニ多イ、其坐繰生絲ガ今日製絲家ノ數カラ言ヒマスト、機械製絲ヲヤル者ガ三千少シデアリマスガ、坐繰製絲ヲヤル者ガ七萬以上モアルノデアリマス、此坐繰製絲ヲヤル者ノ目的トスル所ハ、即チ内地用即チ地遣用ノ生絲デアリマス、其地遣用ノ生絲ト云フモノガ、人造絹絲ガ安イ爲ニ今日デハ頭ヲ押ヘラレテ居ル譯デアリマス、其上更ニ關稅ヲ撤廢シテヨリ安イ人絹——輸入ノ途ヲ開クト、急激ニ詰リ内地用ノ生絲ニ影響ヲ與ヘナケレバナラス、其内地用ノ生絲ニ影響ヲ與ヘル結果ト云フモノガ、引イテ横濱神戸ノ生絲市場ノ上ニモ影響シテ將來日本ノ蠶絲業ノ

運命ニ大ナル關係ヲ持ッテ來ル、ソレガ自然々々ニ來ルノト、急激ニ來ルノトハ大變ナソコニ違ガアル、此意味ニ於テ關稅ヲ減シテ急激ニ之ヲ安クスルト云フコトハ、サナキダニ生産費ノ高イノニ苦シンデ居ル内地ノ蠶絲業者ト云フモノガ、急激ニ此影響ヲ受ケナケレバナラスコトニナルノデアアルカラ、此點ニ付テ私ハ大藏大臣ノ御考ナサルコトハ大變ナ間違デハナイカト斯様ニ考ヘル次第デアリマス

○井上國務大臣 只今御答申シマシタ如ク、百斤百二十五圓ト云フ高い關稅ガアル時デモ、加藤サンノ言ハレル如ク、人造絹絲ハ既ニ百封度百二十五圓ニ下ッテ居リマス、サウシテ只今デモ、仰シヤラレル如ク天然絹絲ノ範圍ヲ侵シテ行ッテ居ルコトハ確カデス、關稅ヲ下ゲマシテモ、下ゲタ伊太利ノ一番安い値段ヲ取リマシテモ、百封度百三十圓、斯ウ假ニ致シマシテ、今日ノ人造絹絲ノ内地ノ相場ガ時々變リマスケレドモ、先ヅ百二十五圓位ヲ上下ヲシテ居ルト云フ、斯ウ云フコトハ既ニ伊太利ノ絲ノ關稅ヲ下ゲタ後ノ値段ヨリモ安クナッテ居ルノデアリマスガ、一面言ハレルコトハ洵ニ道理デアリマスケレドモ、今度ノ關稅ヲ下ゲマシタカラ、一層餘計ニ天然絹絲ノ内地ノ需用ガ減ルト云フヤウナ道理ハ立タヌト自分ハ

考ヘテ居リマス、意見ノ相違デハアリマスケレドモ、私ハ左様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○加藤委員 大藏大臣ハ宜シウゴザイマス、商工大臣ニ一寸……

○榎部委員長代理 アナタノ方ト相談ノ上デ、アナタノ質問時間ハ三十分ト云フコトノ御話デアリマシタカラ、サウ云フ風ニ御纏メヲ願ヒタイト思ヒマス（誰ガ三十分ト決メタ）ト呼フ者アリ）凡ソ三十分位デ成ベク纏メテ戴キタイ

○加藤委員 大藏大臣ニ此上質問スルト際限ガナイカラ、此程度ニシテ置イテ……

○榎部委員長代理 板谷サンハ大藏大臣ニアリマセスカ

○板谷委員 宜シウゴザイマス、大藏大臣カラ忌避シマス

○加藤委員 商工大臣ニ御伺ヒ申上ゲマスガ、商工大臣ハ我國ノ蠶絲業ト云フコトト、人造絹絲ト云フコトノ關係ニ付テ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ御出デニナリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、詰リ我國ノ蠶絲業ノ發達ノ上ニ付テ、人造絹絲ハ影響スルモノデアルト考ヘテ居リマスガ、或ハ影響シナイモノト考ヘテ居リマスガ、商工大臣ニ改メテ此點ニ付テ御伺ヒシテ見タイ

○俄國務大臣 其事ハ實ハ一昨日デゴザイマシタカ、同一ノ御質問ニ對シテ御答シテ置イタト思ヒマスガ、多少ノ影響ハナイトハ申サレマスマイ、其時モ御話モアリマシタ通り、現在ニ於テ影響ガナイトシテモ、將來ニ於テ天然絹絲ガ段々需用ガ増加スル時ニハ多少影響ガナイコトハナイデハナイカト云フ意味ノ御質問ニ對シテ、ソレハ多少影響ガナイコトハナイト云フコトヲ申上ゲテ置イノタデアリマス、現在ニ於テハ

「榎部理事退席、委員長復席」  
格別人造絹絲ノ發達ガ、消費量ノ増加ガ格別影響アルモノトハ思ハレマセヌ、併シ將來ニ於テ人造絹絲ノ需用ガ増加スル時ニ於テハ多少影響ヲ受ケル、斯ウ云フコトハナイトハ言ヘマセヌ

○加藤委員 商工大臣ハ人造絹絲ヲ如何ニ獎勵シマシテモ、天然絹絲ニ多少影響ハアツテモ、大シタ影響ハナイ、斯ウ云フ御考デアリマスガ、全然影響ハナイト云フ御考デアリマスガ改メテ伺ヒタイト思ヒマス

○俄國務大臣 今申上ゲマシタガ、餘リ言葉ガ長クナツタカラ、或ハ要領ヲ得ナカッタカモ知レマセヌケレドモ、多少ノ影響ハ將來ニ於テアルデアラウト云フノデアリマス

○加藤委員 現在ニ於テハドウデスカ

○俄國務大臣 現在ニ於テハサウ大シタ影響ハナイノデアリマス

○加藤委員 商工省トシテハ、此人造絹絲ヲ出來ルダケ獎勵シヨウト云フ御考ガアルカドウカ、又天然絹絲其モノニ付テノ獎勵ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○俄國務大臣 人造絹絲ハ御承知ノ通り世界的ノ工業デアリマス、コチラガ餘リ之ニ對シテ生産ニ油斷ヲスルト云フト、他處ノ國カラ其製品ガ入ッテ來ルト云フ虞ガアリマス、或ル程度迄ハ増産ヲ獎勵シテ、寧ロ入ルノデハナクテ、反對ニ出シテ行ク、原絲トシテモ出シテ行キ、織物トシテモ出シテ行ク位ニシナケレバナラスト思ヒマス、天然絹絲ニ付テハ、是ハ私ガ御答シマセヌデモ、農林大臣ノ方カラ御答ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、商工省ト致シマシテモ、是ハヤハリ相當ニハ獎勵シマセヌケレバ、我國ノ貿易ノ太宗トナッテ居ル位置カラ考ヘテ見マシテモ、農家ノ副業ノ點カラ考ヘテ見マシテモ、是ハヤハリ或ル程度マデ獎勵シナケレバナラスト、思ッテ居リマス

○加藤委員 或ル程度マデ獎勵センケレバナラスト云フ御言葉デアリマスルガ、ソレニ付テ私ハ商工省トシテハ、天然絹絲ヲ何處マデモ獎勵シテ行カナケレバナラスト云フ御考デアアルカドウカト云フコトヲ實ハ御伺ヒ致シタイト云フノハ外デモアリマセヌガ、御承知ノ如クニ二十萬梱ノ生絲ガ横濱ニ殘ッテ居ル、此處分ニ付テハ色々方法ガアル、所ガ現在ニ於テハドウシテモ絹織物ヲ内地ノ者ニ澤山消費サセナケレバナラスト云フ意見モアルノデアアルガ、之ニ付テ此絹織物ノ消費稅ヲ全廢スルト云フコトガ必要デハナイカ、ト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ニ付テ商工大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○俄國務大臣 生絲ノ國內消費ヲ出來ルダケ増加スル、殊ニ製品トシテ生絲ノ消化ヲ國內ニ於テ出來ルダケ増加スル、續イテハ國內消費——ト云フコトハ語弊ガアルガ、國內ニ潰ス、之ヲ以テ國內デ製品ヲ造ッテ輸出ヲシテ行クト云フコトハ、是ハ最モ好マシイコトデアリマス、隨テ此織物ニ對シテ課稅ヲ減免スルト云フ點ニ付テハ、吾々共最モ希望スル點デアリマス

○加藤委員 此人造絹絲ニ關稅ヲ下ゲルト云フコトモ、承ハル所ニ依レバ即チ輸出絹織物ヲ盛ニ致シタイト云フ考カラ、關稅ヲ引下ゲルト云フコトデアリマス、サウシテ見マヌルト云フト、今此絹織物ヲ無稅ニスルト云フコトモ、實ニ二十萬梱ノ生絲ノ處分ノミデハナイ、内地ノ絹織物ヲ盛ニスルト云フコト、重大ナル關係ガアルノデアリマス、然ルニ今回ノ減稅ニ對シテハ、純絹ノ稅ハ更ニ引下ゲテナイノデアリマス、此點ハドウ云フ見地カラサウ云フコトニナッテ居リマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○俄國務大臣 ソレハ洵ニ好マシイコトデアアルガ、是ハ財政ノ見地ヨリ參ッタ點デアリマスルノデ、何トモ致方ガナイト思ヒマス

○加藤委員 私ノ質問ハ是デ宜シウゴザイマス

○永田委員長 板谷君、農林大臣ガマダ參リマセヌガ……

○板谷委員 委員長ニ敬意ヲ表シテ中止シマス……

○永田委員長 ソレデハ本案ニ對シマスル質疑ハ大體終了致シタヤウニ思ヒマス、此程度デ質疑打切ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ノ聲起ル

○永田委員長 質疑ハ此程度ニ打切りマス、尙ホ各派ノ討論ノ御準備モアラウト思ヒマス、政友會ノ諸君及ビ我黨ニ於テモ、今日ノ場面ニ直面シテ代議士會等モアルコトデアリマスカラ、六時ニ理事會ヲ開イテ相談ノ上再開シテ討論ニ入りマス、暫時休憩致シマス  
午後五時休憩

午後七時八分開議

○永田委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス、政府提出、關稅定率法中改正法律案ノ討ヲ開キマス

○板谷委員 政府案ニ對シマシテ修正意見ヲ提出致シマス、木材ノ六百十二號已ノ五ノ中、ニノ一、長サ三十三尺以上無稅ニナッテ居リマス、之ニ對シテ三圓五十錢、ニノ二(ニノ一ヲ除キタル丸太)之ニ對シテ三圓、更ニ癸ノ部ニ行キマシテ、癸ノイニ對シテ、從價六分トナッテ居ルノヲ五圓、「ロ」ニ對シテ、其他丸太ガ無稅トナッテ居リマスノヲ三圓五十錢、六百十二號ニ對シマシテハ此修正意見ヲ提出致シマス、更ニ二百九十號ニ對シマシテハ、百二十五圓ヲ七十五圓ニ改ム、之ヲ全部削除致シマス

○末松委員 只今ノ削除意見ハ、勿論政府提案全部ニ對スル御意見デアラウト思フノデアリマス、吾々モ政府提案ニ付テハ、木材關稅ノミナラズ、農產物乳製品等ニ關スル案ニ對シマシテモ、相當意見ハアリマスガ、是等ノ意見ヲ寧ロ貫徹スルト云フ關係上、此際ハ政府原案ヲ其儘修正セズシテ贊成スル方ガ、適當デアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ農產物乳製品等ニ付テハ——他ニ提案等モアリマスルカラ、政府

○永田委員長　御諮リ致シマス、本案ニ對シテ只今板谷君ヨリ修正意見ノ御發議ガアリマス、又末松君ヨリ本案ノ贊成ノ御意見ガアリマス、案ニ對スル遠イモノカラ採決ヲ致シマス、板谷君ノ修正動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○板谷委員 修正意見ニ對スル理由ハ  
保留致シマシテ、何レ本議場デ述べマ  
ス

附帶決議

製人絹ヲ原料トスル多數織物業者ト  
海外市場ニ競争セシムルハ内地人絹  
製造業者及前記多數織物業者ノ存立  
ヲ危クスルモノナリ故ニ政府ハ將來  
人絹織物業ニ對スル保稅工場ノ新設  
又ハ擴張ノ特許ヲ與ヘザルハ勿論是  
ガ取締ヲ嚴重ニシ以テ人絹製造ノ發  
達ト人絹織物輸出貿易ノ増進ト相互  
扞格ナキコトヲ期スベシ

是ガ一デアリマス

二、關稅定率法中別表第六百十二號

「癸」ニ該當スル南洋「ラワン」材ハ近  
時其輸入量増加ノ傾向ニアリ其價格  
低廉ニシル内地濶葉樹ノ市場ヲ壓迫  
スルニ鑑ミ是ガ輸入關稅引上ノ要ア  
リト思惟ス

此附帶決議ニ對シマシテ贊否ヲ求メマス、御贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス  
〔贊成者 起立〕

○永田委員長　全員起立デアリマス、可決致サレマシタ、就キマシテハ此委員會ニハ議員提出ノ法律案ガ併合サレテ居リマス、故之ニ引續キマシテ審議ヲ致シタイト思ヒマス、但シ皆サン御承知ノ通り、此内容ニ付キマシテハ、

隨分質疑ガ行ハレテ居リマス、故ニ成  
ベク其點ハ略シテ戴キタイト思ヒマス  
ルガ、但シ審議ノ都合上提案者ノ辯明  
ガ少シモ無シデハ、形式ガ整ヒマセヌ  
ト思ヒマスカラ、此際提出者ノ趣旨辯

イト思ヒマス、第七十六號ノ關稅定率  
法別表輸入稅表中改正ハ、別表ノ第五  
十三號中三十六圓九十錢トアルモノヲ  
五十五圓ニ、第五十四號中三十九圓三  
十錢ヲ五十五圓ニ、第五十五號第一項

中十三圓四十錢ヲ五十五圓ニ、第二項  
中八圓三十錢ヲ二十圓ニ、第二百十七  
號ノ無稅デアアルモノヲ每百斤二十二圓  
五十錢ニ致スノデアリマス、第七十七  
號モ同一ノ提案者デアリマスカラ併セ  
テ陳述致シマス、關稅定率法別表輸入  
稅表中第十八號ヲ高粱每斤五十錢ニ、  
第十九號中三十錢ヲ一圓五十錢ニ、第  
二十二號第四項甲ノ中一圓八十錢ヲ三  
圓六十錢ニ、乙ノ中三割ヲ六割ニ改メ

ルト云フ法律案デアリマス  
右ノ提案ニ付キマシテ理由ヲ簡單ニ  
陳述致シマス、現時ノ世界ノ經濟戰ニ  
於キマシテ、關稅政策ニ於テ各自國產  
業ノ保護進展ヲ策シテ居ルコトハ必然

シテ、我國ノ酪農業ハ今日ノ域ニ進ン  
デ參ッタノデアリマス、「バター」煉乳、  
粉乳等何レモ品質、數量ニ於テ國產ト  
シテ獨立シ得ルノ狀況ニ立至ッタノデ  
アリマス、又農村ニ於ケル所ノ澱粉事

業モ馬鈴薯ニ於ケル澱粉、甘藷、是同様デアリマス、然ルニ現財界ノ不況ハ未曾有ノ打撃ヲ斯業ニ與ヘ、消費ハ減退、加フルニ輸入品ハ金解禁ト同時ニ輸入原價ノ低落ト相俟ツテ愈、國產品ヲ壓迫シ、「バター」ノ如キハ一時輸入品ヲ半減以下ニ驅逐セシニ拘ラズ、昨年下半年以來頓ニ輸入増加ヲ來スニ至ッタノデアリマス、又煉乳ニ於テハ滯貨山積ノ爲メ會社ハ製造制限ヲ爲スニ

至リ、其結果ト致シマシテ農家ハ牛乳ヲ拋棄スルノ已ムナキ地方スラゴザイマス、而シテ乳價ハ極端ナル慘落ヲ現出シテ、牛乳一升僅ニ五錢乃至十錢ニ引下ゲラレ、農村疲弊ノ折柄斯ノ如キ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <p>深刻ナル打撃ハ有畜農業ノ根本ヲ破壊シ、斯業者ヲシテ失望ニ次イデ破産ニ至ラシメントスル傾向デアアルノデアリマス、仍テ「バター」「チーズ」「カゼイン」煉乳、粉乳等ノ關稅引上ヲ爲シ、牛乳一升十一錢乃至十四錢ノ價格ヲ維持セシメナケレバ將ニ倒壊セントシツツアルノデアリマス、又澱粉、甘藷ノ方面ニ於キマシテモ、澱粉ノ如キハ先ヅ北海道ニ於ケル馬鈴薯產ノ澱粉ニ付テ申上グルナラバ、從來一段歩カラ十六貫目俵十五俵乃至二十俵生産シ、ドウアラ澱粉工業ガ間ニ合フ時代ニ於テハ一俵ガ一圓五十錢デアッタガ、現在ニ於テハ四十錢五十錢デ、一段ノ馬鈴薯ヲ耕作シテ十圓カ十二圓ノ收入シカナリマシテ、澱粉農業者ハ殆ド破産ニ瀕シテ居ル、有畜農業ニ於ケル牛乳、耕作農業ニ於ケル馬鈴薯、甘藷等、斯ノ如キ悲況ニ沈淪シテ居ル、又滿洲邊ヨリ輸入スル高粱、玉蜀黍、高粱ノ如キハ漸ク昨年ノ議會ニ於テ無稅ニナツテ居リマスガ、大豆ナルモノハ現ニ在來ノ農家ノ生産者ガ現在ノ如キ悲況ニ沈淪ヲ致シテ居ル故ニ、此關稅引上ヲ要求致スノデアリマス、何卒適當ノ御審議ヲ賜ランコトヲ願ヒマス</p> | <p>居ルコトハ疾ニ承知シテ居ル、今折角調査中デアアル、又先刻ノ政府提案ノ關稅改正案ニ對シ委員諸君ヨリ修正ノアッタモノニ對シテ、大藏大臣ハ政府ハ同意出來ナイカモ知レナイ、若シ議員ノ提案ガ通過致スナラバ、通過致シタ場合ニ考慮ヲスルト云フヤウナコトヲ述ベラレタ、是ハ本委員會始ツテ以來ノ委員諸君ノ質問應答ニ依ツテ、政府當路ハ疾ニ御諒知ニ相成ツテ居ルコト、信ズルノデアリマス、又農林大臣ノ御意見トシテ、關稅政策ニ依ツテ救フベキカ、或ハ助成政策ニ依ツテ、救フベキカト云フ御話モアッタノデアリマスガ、當業者ハ先以テ關稅政策ニ依ツテ御救ヒヲ願ヒタイト云フ希望ガデアアル、只今提案致シマシタ此二案ニ對シテモ、ヤハリ關稅ノ改正ヲ以テ救済シテ貰フト云フコトガ、全國當業者ノ意見デアル、尙ホ委員長ニ一言申上ゲテ置キマス、提出者トシテ必要ナル場合ニハ發言ヲ御許シ下サランコトヲ希望致シマス</p> | <p>○板谷委員 吾々ハ此委員會ニ於キマシテ屢、此問題ニ付テハ極言致シテ居ルノデアリマスガ、只今提案者トシテ述ベラレタ淺川君ノ御意見ニ對シマシテハ、全然同感デアリマス、而シテ更ニ提案者ト致シマシテ木下成太郎、東武、佐々木平次郎、松實喜代太、三井</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <p>德實、東條貞、板谷順助、村田不二三、是等ガ此案ニ合流致シマス<br/>○岡田委員 今ノ川島君外何名ノ姓名ヲ一應速記ニ留メテ戴キタイ<br/>○板谷委員 改メテ提案者ト致シマシテ、川島正次郎、津崎尙武、森蠶祖、胎中楠右衛門、土井權大、今井健彦、東郷實、永田良吉、鈴木隆<br/>更ニ贊成者トシマシテ、山下谷次、助川啓四郎、佐藤重遠、兼田秀雄、西村茂生、青山憲三、崎山武夫、藤井達也、原惣兵衛、深澤豐太郎、本田義成、林讓治、寺田市正、木暮武太夫、清家吉次郎、清水銀藏、青木精一、飯村五郎、山田又司、志波安一郎、志賀和多利、岩本武助、坂本一角、中島守利、立川太郎、牧野賤男、安藤正純、大石倫治、多木久米次郎、水島彦一郎、大崎清作、出井兵吉、井上知治、野方次郎、林七六、上野基三、大野仲睦、米田規矩馬、星廉平、加藤知正、ソレダケヲドウゾ御認置キヲ願ヒマス</p>                                                                                                                                            | <p>○永田委員長 提案者ノ趣旨辯明ニ關シテ發言ヲ御許シ致シマス——手代木君</p> |
| <p>而シテ一言申上ゲマス、先刻農林大臣ノ御意見トシテ、農產品ノ暴落シテ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>○手代木委員 私モ提案者ノ一人トシマシテ、只今淺川君ノ御説明ニ對シテ少シ補足ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ此關稅率ヲ引上ゲマシタ計算ノ基礎デアリマス、私ハ此乳製品ノ方ノ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>此「バター」ノ三十六圓九十錢ヲ五十五圓ニ改メマシタコト、ソレカラ「チーズ」ノ三十九圓三十錢ヲ五十五圓ニ改メ、又「カゼイン」ヲ無稅ノモノヲ二十二圓五十錢ニ値上ラシタ、是等ハ主トシテ、輸入原價ト國產原價トノ差額ヲ見タ譯デアリマス、其差額ヲ關稅ニ依ツテ保護シヤウト云フコトカラ此率ニ引上ゲタ譯デアリマス、ソレデ計算ノ數字ハ昭和五年ノ輸入原價ノ平均ヲ取り、又昭和五年ニ於ケル我國產原價ノ平均ヲ取ツタノデアリマスガ、「バター」ノ方ハ輸入原價ガ七十二圓、國產原價ガ百二十六圓六十六錢、其差額ガ五十四圓六十六錢トナリマス、即チ之ニ對シテ五十五圓ニ引上ラシタ譯デアリマス、從來ヨリモ十八圓十錢増シタ譯デアリマス、「チーズ」ノ方ハ輸入原價ガ八十九圓二十錢、國產原價ガ百四十四圓二十錢、其差額ガ五十五圓ニ當リマス、是ガ從來ヨリモ丁度十五圓七十錢ヲ増加シタコトニナルノデアリマス、ソレカラ「カゼイン」ノ方ハ輸入原價ガ二十四圓、國產原價ガ四十六圓六十六錢、其差額ガ二十二圓六十六錢デアリマス、ソレヲ二十二圓五十六錢ニ致シタ譯デアリマス、而シテ「バター」及ビ「チーズ」ノ原料乳ノ代金ハ「バター」ノ方ハ一升十一錢五厘ト</p> | <p>點ニ付テ主トシテ説明ヲ致シマスガ、此「バター」ノ三十六圓九十錢ヲ五十五圓ニ改メマシタコト、ソレカラ「チーズ」ノ三十九圓三十錢ヲ五十五圓ニ改メ、又「カゼイン」ヲ無稅ノモノヲ二十二圓五十錢ニ値上ラシタ、是等ハ主トシテ、輸入原價ト國產原價トノ差額ヲ見タ譯デアリマス、其差額ヲ關稅ニ依ツテ保護シヤウト云フコトカラ此率ニ引上ゲタ譯デアリマス、ソレデ計算ノ數字ハ昭和五年ノ輸入原價ノ平均ヲ取り、又昭和五年ニ於ケル我國產原價ノ平均ヲ取ツタノデアリマスガ、「バター」ノ方ハ輸入原價ガ七十二圓、國產原價ガ百二十六圓六十六錢、其差額ガ五十四圓六十六錢トナリマス、即チ之ニ對シテ五十五圓ニ引上ラシタ譯デアリマス、從來ヨリモ十八圓十錢増シタ譯デアリマス、「チーズ」ノ方ハ輸入原價ガ八十九圓二十錢、國產原價ガ百四十四圓二十錢、其差額ガ五十五圓ニ當リマス、是ガ從來ヨリモ丁度十五圓七十錢ヲ増加シタコトニナルノデアリマス、ソレカラ「カゼイン」ノ方ハ輸入原價ガ二十四圓、國產原價ガ四十六圓六十六錢、其差額ガ二十二圓六十六錢デアリマス、ソレヲ二十二圓五十六錢ニ致シタ譯デアリマス、而シテ「バター」及ビ「チーズ」ノ原料乳ノ代金ハ「バター」ノ方ハ一升十一錢五厘ト</p> | <p>ハ「バター」ノ方ハ一升十一錢五厘ト</p>                   |

計算シ、「チーズ」ノ方ハ一升十七錢ニ計算シ「カゼイン」ノ方ハ所謂脱脂乳一升二錢ノ計算ニナツテ居リマス、煉乳及ビ粉乳ノ方ハ輸入原價ト、生産原價ト尙ホ其外ニ、我國民ガ舶來品ヲ崇拜スルト云フ點カラ特別ナル高イ値段ヲ表ハシテ居リマス、サウ云フモノヲ加ヘマシテ、ソレニ相當スルモノヲ關稅ニ依ッテ保護シヤウ、斯ウ云フ見地カラ割出シタノデアリマシテ、其數字ヲ示シマスレバ、煉乳ノ方ハ輸入原價ガ三十圓三十錢、國產原價ガ四十二圓五十錢、舶來品崇拜ニ因ル高値ニ相當スル値段ガ十一圓二十五錢、差額ノ合計ガ二十三圓四十五錢、ソレカラ粉乳ノ方ハ輸入原價ガ百一圓十五錢、國產原價ガ百二十圓、舶來品崇拜ニ因ル所ノ高値ニ相當スルモノガ四十四圓四十五錢、差額ノ合計ガ六十三圓三十錢、而シテ煉乳及ビ粉乳ノ一升ノ原料ノ乳代ハ十四錢ノ計算ニ致シタノデアリマス、尙ホ此國產原價計算ニ當ル所ノ計算ハ此處ニ細カナ表ガアリマスケレドモ、一々述ルコトハ煩瑣デアリマスカラ、是ハ便宜上委員長ノ御許シヲ得テ速記録ニ載セタイト考ヘルノデアリマス、左様な基礎カラ此引上ヲ考慮シタ譯デアリマスルガ、特ニ此際尙ホ附加ヘテ置キタイコトハ、是ハ先達テノ質問デ特ニ高橋君ナドカラモ御質問ガアッタノデ

アリマシガ、爲替ノ回復ニ因ル關稅ノ考慮ヲ要スル點デアリマシガ、現在ノモノガ昭和元年及ビ二年ニ是ハ改正ニナツタト思ヒマスガ、其當時ニ較ベマスト、爲替ガ回復ヲ致シテ居ル、每百斤ヲ標準ニシテ計算シテ見マス、煉乳ノ方ハ九圓十七錢ダケ回復致シテ居リマス、粉乳ノ方ハ二十四圓二十錢、「バター」ノ方ハ二十九圓七十六錢、「カゼイン」ハ九圓十八錢、斯様ニナツテ居リマシテ、現行ノ關稅ハ此回復シタ爲替ニモ及バナインノガ、煉乳、粉乳、「カゼイン」、唯「バター」ノ方ハソレヨリ超過致シテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ爲替關係ノ點カラ考ヘマシテモ、十分ニ引上ラスル理由ヲ發見スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ私ガ提案理由ヲ説明シタコト、及ビ同僚淺川君カラノ御説明ニ、先日來ノ質問應答ニ依ル詳細ナル問答ニ依ッテ、能ク理由ガ推測セラレルコト、思ヒマス、是非此改正ガ實現センコトヲ吳々モ要望致ス所ノ者デアリマス、一寸ソレダケ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○永田委員長 御諮リ致シマス、只今手代木君カラ書類ヲ速記録ニ留メテ貰ヒタイト云フ御意向デアリマシタ、委員長ハ之ヲ許可致シマス、單ニ手代木君バカリデハアリマセス、御希望ノ御方ガアリマスレバ委員長ハ左様ニ取扱ヒマス

○多田委員 私ハ本案ノ提案者トシテ本會議ニ於テ大體ノ説明ヲ致シテ置キマシタ、又同僚淺川君ヨリ詳細ニ「バター」ノ御説明ガアリマシタカラ、極メテ簡單ニ補足致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ專ラ澱粉關係ニ付テデアリマスガ、數日來此委員會ニ於ケル質問應答ヲ拜聽致シテ居リマス、本案ハ如何ニモ一地方的ノ問題デアルカノ如ク言ハレテ居ルヤウデアリマスガ、私ノ知レル範圍ニ於テハ、此澱粉關稅ノ引上ハ、千葉縣ハ申スニ及バズ、北海道、長崎、鹿児島、青森、廣島、兵庫、靜岡、其外數縣ニ互ッテ居ルノデアリマシテ、殆ド全國ニ關係ヲ持ッテ居ルト言ッテモ宜シイ程ノ重要ナル案デアアルト思フノデアリマス、同時ニ此案ハ澱粉業者、或ハ製飴業者ニ重要ナル關係ヲ持ッテ居ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、其背後ニ居リマス農村ニ直接非常ナル關係ヲ持ッテ居リマシテ、少クトモ農民六十萬戸ハ此問題ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、更ニ又農產物保護ノ爲ニ本案ガ必要トナツテ來ルノデアリマスガ、私共聞ク所ニ依リマス

ト、朝鮮ニ昨年亞米利加ノ或ル會社ガ一千萬ノ資本ヲ投ジテ「コーン・プロダクト」會社ナルモノヲ創立致シテ、其生産品ハ日ナラズシテ市場ニ賣出サレルト云フコトデアリマス、此會社ノ製品ハ主トシテ滿洲方面ノ高粱及ビ玉蜀黍ヲ原料トスルモノデアリマシテ、其原料ハ高粱ガ無稅デアリ、玉蜀黍ガ百斤ニ付テ三十錢ト云フコトデアリマスカラ、其原料ニ依ッテ生産サレタモノガ内地ニ賣出サレルト云フコトニナリマスト、此澱粉業者、製飴業者ハ恐ラクハ倒産ノ憂目ヲ見ルノデアアルマイカト思ヒマス、同時ニ其原料ヲ生産致シテ居リマス所ノ、即チ甘藷、馬鈴薯ヲ作ッテ居ル全國多數散在ヲ致シテ居ル農民ノ經濟狀勢ニ非常ナル影響ヲ持ッテ居ルノデアッテ、本案ハ極メテ小ナル問題ノヤウニモ思ヒマスケレドモ、農民關係カラ見テ極メテ重大ナ問題デアッテ、農村救済ノ大ナル目的ハ此案ニ依ッテ達シ得ベシトサヘ私ハ考ヘテ居ル、ドウゾ委員諸君ニ於カレテモ、本案ノ趣旨ニ滿腔ノ御同情ヲ寄セラレテ、慎重審議通過ニ御苦勞ヲ願ヒタイノデアリマス

更ニ又本案ノ稅率引上ノ基礎ニ付テハ申上ゲタイコトモアリマスガ、今日ハ時間ヲ惜マナケレバナラヌ狀勢ニナツテ居リマスカラ、其點ハ省略致シテ置キマス

○永田委員長 御諮リ致シマス、本案

ハ兩派ノ諸君ガ御一致ノ提案デアリマスカラ、討論モ格別アルマイト思ヒマス、尙ホ又政府ハ此案ガ可決シマシタ後、其態度ヲ聲明スルサウデアリマスカラ、討論ヲ省略シテ採決シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○永田委員長 ソレデハ討論ヲ省略シテ採決致シマス——議題ニ供シテ居リマス右二案ニ對シマシテ、御賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○永田委員長 今ノ議題ハ議員提出ノ二案ダケデアリマス

〔贊成者 起立〕

○永田委員長 全員起立——可決致シマシタ

○板谷委員 保稅工場ニ對シテ、先程依商工大臣ハ此以上殖ヤスコトニ付テハ慎重ニ考慮スルト云フコトデアアルガ、吾々ノ希望トシテハ、中小產業者ノ保護スル意味ニ於テ、將來ニ於テハ絶對ニ殖ヤサスト云フコトニ御決意ヲ願ヒタイ、此點ヲ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○俄國務大臣 只今議員提出ノ兩案ノ委員會ニ於テ可決ニ相成リマシタ此際ニ於キマシテ、私ハ國務大臣トシテ政府ヲ代表シテ此案ニ對スル政府ノ意見ヲ申上ゲマス、諸君ノ熱心ナル御主張モアルコトデアリマスカラ、本案ガ衆議院ヲ通過シマシタナラバ、政府ハ本案ノ趣旨ニ副フヤウニ努力致シマス

○岡田委員 一寸政府ニダメヲ押シテ置キタイ、今委員會ヲ通過致シマシテ、多分與黨ノ力ヲ以テシテ、尙ホ我黨モ同意シテ居リマスカラ、是ハ衆議院ハ滿場一致通過スルコト、思ヒマス、是ガ貴族院ニ廻付サレマス時ニハ、政府ハ貴族院ニ對シテ如何ナル態度ヲ以テ臨マレルカ、其事ノ御明答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○板谷委員 今ノ聲明ニ對シテ……此問題ニ付テハ多クノ言葉ヲ費シマセヌガ、先般來吾々委員ガ熱心ニ政府ニ對シテ要望シ、又本日委員會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決シタノデアアル、然ルニ農林大臣、大藏大臣ハ、先程マデハ此案ガ委員會ニ於テ可決シタナラバ、之ニ對スル聲明ヲスルト云フヤウナ話ヲナ

○永田委員長 委員會ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後七時五十一分散會

手代木隆吉君說明參照

バター壹封度當リ原價計算表

| 費目      | 金額   | 備考                                         |
|---------|------|--------------------------------------------|
| 原料乳代    | 七五〇〇 | バター四九〇瓦(百二十多)トス一封度ニ要スル乳量六升五合一升乳價十一錢五厘      |
| 包裝及荷造費  | 四八〇〇 | 箱、カートン、包紙、工賃共                              |
| 動力費     | 四〇〇〇 | 石炭ハ一封度當リ三斤三錢トス外ニ電力一封度當リ一錢トス                |
| 工賃      | 一四〇〇 | 一ケ年(三六五日)間三十萬封度一日八二二封度製造トシ技手一名千二百圓、助手五名三千圓 |
| 消耗品代    | 一〇〇〇 | 濾過布、脫脂綿、檢査用藥品等                             |
| 運賃      | 三〇〇〇 | 製品運賃                                       |
| 事務費     | 一〇〇〇 | 給料、税金、寄附金、小使給仕費等                           |
| 金利      | 三〇〇〇 | 流動資金同收迄ノ利息                                 |
| 修繕費及償却金 | 一八〇〇 | 機械五ケ年建物二十ケ年原價五萬圓ニ對スル償却                     |
| 合計      | 九五〇〇 |                                            |

百斤換算 一二六、六六

チーズ一斤(百二十多目)生産費、金壹圓八錢一厘五毛

|              |       |
|--------------|-------|
| 牛乳(三升、一升十七錢) | 五一、〇〇 |
| スターター        | 一、〇〇  |
| カレンット        | 〇、六五  |
| レンネット        | 一、五〇  |
| 食鹽           | 一、〇〇  |
| 布地其他         | 一、〇〇  |

|            |         |
|------------|---------|
| 蒸氣         | 〇、六〇    |
| 貯藏六ヶ月年一割   | 五、四〇    |
| 家屋、器械消却及利子 | 七、〇〇    |
| 給料         | 五、〇〇    |
| 包裝費、荷造費    | 一七、〇〇   |
| 運賃及販賣費     | 一七、〇〇   |
| 計          | 一、〇八、一五 |
|            | 一四四、二〇  |
| 百斤換算       |         |

煉乳壹函當リ原價計算表

| 費目     | 金額  | 備考                                              |
|--------|-----|-------------------------------------------------|
| 原料乳代   | 四二〇 | 煉乳一函ハ三九〇瓦入(二〇七冬)四八個(四打入)トス、一函ニ要スル乳量ハ三斗乳價一升十四錢トス |
| 砂糖代    | 三〇〇 | 原料乳三斗ニ對シ砂糖十五斤ヲ要ス、額百斤ニヅキ二十圓トス                    |
| 製罐代    | 二一六 | 鋳力罐四十八個一個四錢五厘トス                                 |
| 木函代    | 四〇  | 工賃、釘共                                           |
| 包裝及荷造費 | 六三  | レーベル、ボール紙代工賃共                                   |
| 動力費    | 五五  | 石炭一函當リ使用量四十五斤炭價百斤工場著一圓即チ四十五錢トス外ニ電力一函當リ十錢トス      |
| 修繕費    | 二〇  | 機械、建物ノ修繕費一ケ年一萬圓一ケ月八百三十圓トス                       |
| 消耗品    | 二〇  | 濾過布、脫脂綿、檢査用藥品等                                  |
| 製造工賃   | 三〇  | 一ケ年(三六五日無休)五萬圓一日一三七函製造トシ此ノ職工三十四人賃金一人當リ一圓二十錢トス   |

|         |      |                                         |
|---------|------|-----------------------------------------|
| 製品運賃    | 五〇   | 工場ヨリ驛迄及各地送り鐵道納金扱料等                      |
| 販賣費     | 一五〇  | 特賣費、割戻金、旅費及外交費等                         |
| 宣傳費     | 一八〇  | 新聞廣告、ポスター、野立看板、活動寫眞、其他各種宣傳              |
| 給料      | 七〇   | 人員三十二名一人當リ平均一ケ月九十一圓餘トス                  |
| 事務費     | 九五   | 税金、保險費、戻品損金、寄附金、小使給仕費等                  |
| 回收不能代   | 三〇   | 五萬函原價七十五萬圓ニ對スル百分ノ二ノ掛倒レト見テ一萬五千圓一函三十錢     |
| 利息      | 三六   | 原價十五圓代金ノ回收半ケ年トシテ半ケ年ノ利四分トシテ三十六錢          |
| 固定資本償却金 | 五〇   | 機械、建物、原價五十萬圓二十ケ年償却トシ年額二萬五千圓一ケ年製品五萬函ニテ除ス |
| 合計      | 一八二五 | 百斤八圓三十五錢ノ戻稅一函當リ十五斤ノ計                    |
| 砂糖戻稅    | 一二五  |                                         |
| 差引合計金   | 一七〇〇 |                                         |

百斤換算 四二、五〇

粉乳壹函當リ原價計算表

| 費目   | 金額  | 備考                          |
|------|-----|-----------------------------|
| 原料乳代 | 四二〇 | 粉乳一函ハ四五〇瓦入(二二〇冬)十二ケ入レ(二打)トス |
| 製罐代  | 一三二 | 一函ニ要スル乳量ハ三斗ニシテ現在乳價一升十四錢トス   |
| 木函代  | 三〇  | 鋳力印刷卷取式十二ケ一ケ十一錢工賃、釘共        |

|         |      |                            |
|---------|------|----------------------------|
| 包裝及荷造費  | 二六   | レーベル代ボール紙代工賃共              |
| 動力      | 七〇   | 石炭一兩當リ使用量五十斤五十錢トス          |
| 修繕費     | 一〇   | 外ニ電力一兩當リ二十錢トス              |
| 消耗品代    | 一〇   | 一ケ年二千圓一ケ月八十三圓トス            |
| 製造工賃    | 一五   | 濾過布、脫脂綿、檢査用藥品等             |
| 製品運賃    | 三〇   | 一ケ年(三六五日)間二萬兩一日五十五兩製造ト     |
| 販賣費     | 六〇   | シ此職工七人、賃金一人當一圓二十錢          |
| 宣傳費     | 一〇   | 工場ヨリ驛迄及各地ニ對スル鐵道納金扱料等       |
| 給料      | 二三   | 特賣費、割戻金、旅費及外交費等            |
| 事務費     | 四〇   | 新聞廣告、ポスター野立看板、活動寫眞其他各種宣傳   |
| 回收不能代金  | 二〇   | 人員五名一人當リ月額九十一圓餘トス          |
| 利息      | 二四   | 保險費、戻品損金、税金、寄附金、小使給仕費等     |
| 固定資金償却金 | 五〇   | 二萬兩原價二十萬圓ニテ百分ノ二ノ掛倒レト       |
| 合計      | 一〇八〇 | 見テ四千圓一兩二十錢                 |
|         |      | 原價十圓代金ノ回收半ケ年トシテ半ケ年ノ金利四分トシテ |
|         |      | 機械建物原價二十萬圓、二十ケ年間償却トシ       |
|         |      | テ年額一萬圓、一ケ年製品二萬兩ニテ除ス        |
|         |      | 一封當リ九十錢                    |

百斤換算 一二〇、〇〇<sub>四</sub>

カゼイン一封度當リ原價計算表

| 費目     | 金額               | 備考                     |
|--------|------------------|------------------------|
| 原料乳代   | 二〇〇 <sub>錢</sub> | カゼイン四五〇瓦(二二〇瓦)ニ要スル渣乳量ハ |
| 包裝及荷造費 | 二八〇              | 一斗ニシテ一升ニ付二錢            |
|        |                  | 罐、レーベル、繩及棧俵代等          |

|         |      |                        |
|---------|------|------------------------|
| 動力及燃料   | 二〇〇  | カゼイン一封度當石炭一斤外ニ電力一封度當   |
| 工賃及消耗品代 | 二〇〇  | リ一錢トス                  |
| 運賃      | 三〇〇  | 一ケ年(三六五日)間十八萬封度一日四九三封度 |
| 事務費     | 二〇〇  | 製造トシ此ノ職工賃金三人分一人當一圓二十   |
| 金       | 一八〇  | 錢、消耗品濾布脫脂綿藥品等          |
| 修繕及償却金  | 一四〇  | 製品運賃                   |
| 合計      | 三五〇〇 | 保險費戻稅損金稅金給料等           |
|         |      | 流動資金回收迄ノ利息             |
|         |      | 機械建物原價五萬圓二十ケ年間償却トシテ年   |
|         |      | 額二千五百圓一ケ年製品十八萬封度ニテ除ス   |

百斤換算 四六、六六<sub>四</sub>